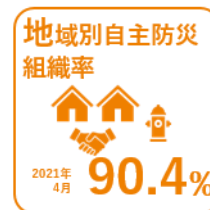
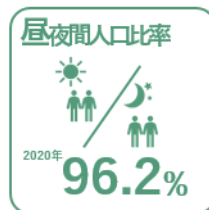
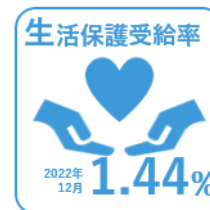


そーなんだ吹田 ～吹田がわかる50のデータ～

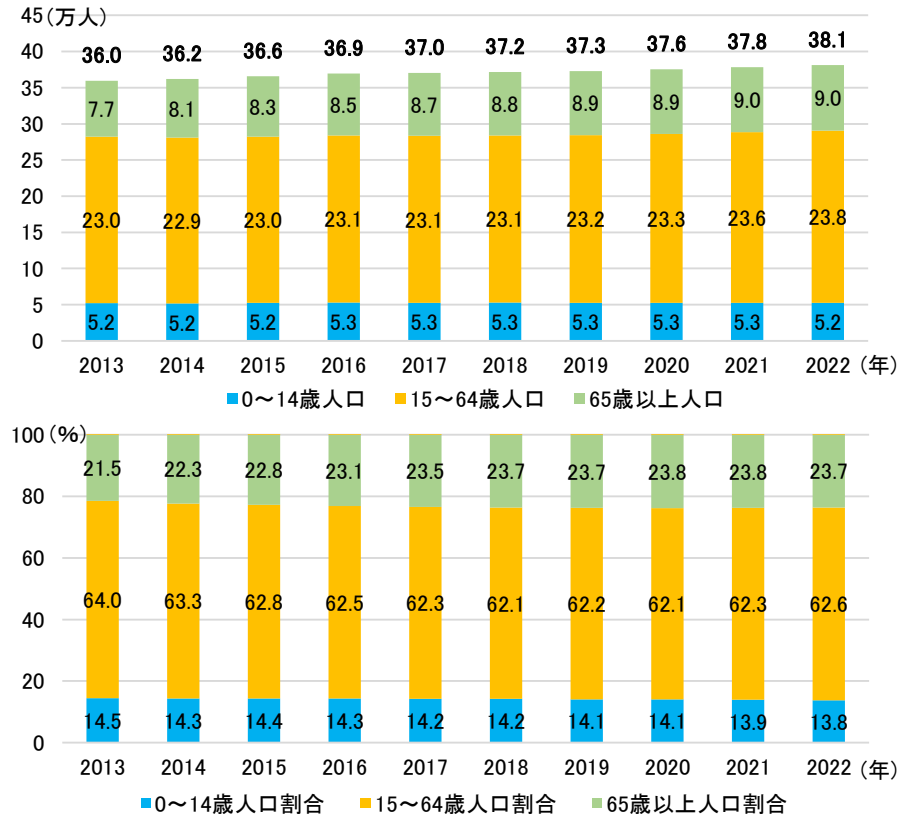




人口

吹田市の状況

【総人口、年齢3区分人口・割合の推移】



(資料)吹田市住民基本台帳、各年9月30日時点

- 吹田市の人口は増加傾向が続いており、2022年には38万人を超えた。
- 2022年の0~14歳人口割合と15~64歳人口割合は、いずれも全国の中核市の中で4番目に高くなっている。
- また、65歳以上人口割合は、全国中核市の中で2番目に低くなっている。

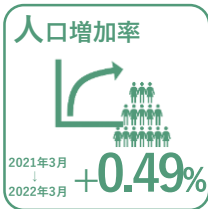
他都市との比較

【年齢3区分人口割合(2022年)】

順位	中核市	0~14歳人口割合 (%)	順位	中核市	15~64歳人口割合 (%)	順位	中核市	65歳以上人口割合 (%)
1	那覇市	14.5	1	川口市	65.0	1	函館市	36.6
2	明石市	14.0	2	船橋市	63.5	2	下関市	36.2
3	岡崎市	13.9	3	豊田市	62.8	3	呉市	36.1
4	吹田市	13.9	4	吹田市	62.4	4	旭川市	34.7
5	久留米市	13.8	5	西宮市	62.2	5	長崎市	33.6
6	宮崎市	13.7	6	岡崎市	62.1	6	佐世保市	32.5
6	鹿児島市	13.7	7	越谷市	62.0	7	横須賀市	32.3
8	豊中市	13.6	8	八王子市	61.4	8	青森市	32.2
9	倉敷市	13.5	9	宇都宮市	61.3	9	秋田市	32.0
10	大分市	13.4	10	那覇市	61.3	10	奈良市	31.7
11	大津市	13.3	11	柏市	61.2
11	西宮市	13.3	12	川越市	61.0	53	宇都宮市	25.9
13	豊田市	13.2	12	尼崎市	61.0	54	豊中市	25.8
14	福山市	13.0	14	豊橋市	60.9	55	越谷市	25.5
15	松江市	13.0	15	東大阪市	60.9	56	西宮市	24.4
16	豊橋市	12.9	16	豊中市	60.7	57	高知市	24.2
16	姫路市	12.9	17	郡山市	60.5	58	岡崎市	24.0
16	佐世保市	12.9	17	水戸市	60.5	59	船橋市	24.0
19	高松市	12.9	19	金沢市	60.3	59	豊田市	24.0
20	一宮市	12.8	20	一宮市	60.0	61	吹田市	23.8
...	62	川口市	23.0
62	函館市	9.2	62	下関市	52.9			

(資料)中核市市長会「都市要覧」

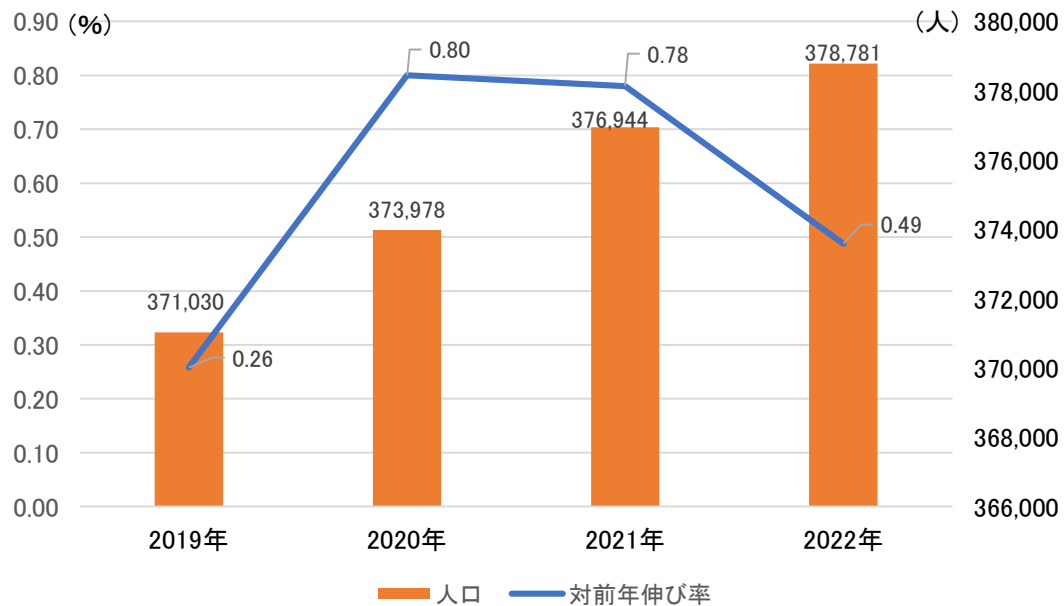
(注)2022年3月時点



人口増加率

吹田市の状況

【人口及び対前年度伸び率の推移】



(資料) 中核市市長会「都市要覧」
 (注) 各年3月時点の人口の比較

- 近年の吹田市の人口増加率はプラスの状況で推移している。
- 2021年から2022年の人口増加率を全国の中核市と比較すると、多くの都市において人口増加率がマイナスとなっている中、吹田市は最も高い数値となっている。

他都市との比較

【人口増加率(2021年→2022年)】

順位	中核市	人口増加率 (%)
1	吹田市	0.49
2	柏市	0.38
3	明石市	0.20
3	宮崎市	0.20
5	船橋市	0.10
6	八王子市	0.00
7	大津市	-0.01
8	川越市	-0.15
9	水戸市	-0.20
9	越谷市	-0.20
9	豊中市	-0.20
9	大分市	-0.20
13	岡崎市	-0.21
14	西宮市	-0.30
14	松江市	-0.30
14	鹿児島市	-0.30
17	甲府市	-0.40
18	川口市	-0.44
19	倉敷市	-0.48
20	松本市	-0.50
...
62	呉市	-2.27

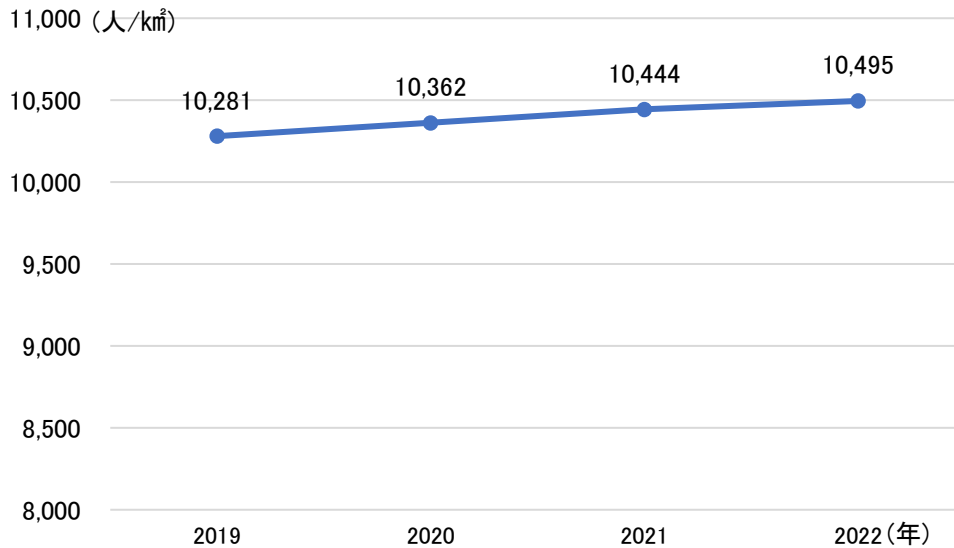
(資料) 中核市市長会「都市要覧」
 (注) 各年3月時点の人口の比較



人口密度

吹田市の状況

【人口密度の推移】



(資料) 中核市市長会「都市要覧」
 (注) 各年3月時点

- 吹田市は全国の中核市の中で2番目に人口密度が高い(2022年)。
- 近年の人口増加に伴い、人口密度も上昇傾向にある。

他都市との比較

【人口密度(2022年)】

順位	中核市	人口密度 (人/km ²)
1	豊中市	11,144
2	吹田市	10,495
3	川口市	9,767
4	寝屋川市	9,252
5	尼崎市	9,057
6	東大阪市	7,791
7	那覇市	7,658
8	船橋市	7,545
9	八尾市	6,301
10	明石市	6,168
11	枚方市	6,084
12	越谷市	5,722
13	西宮市	4,813
14	横須賀市	3,868
15	柏市	3,758
16	一宮市	3,351
17	高槻市	3,316
18	川越市	3,234
19	八王子市	3,012
20	岐阜市	1,979
...
62	鳥取市	240

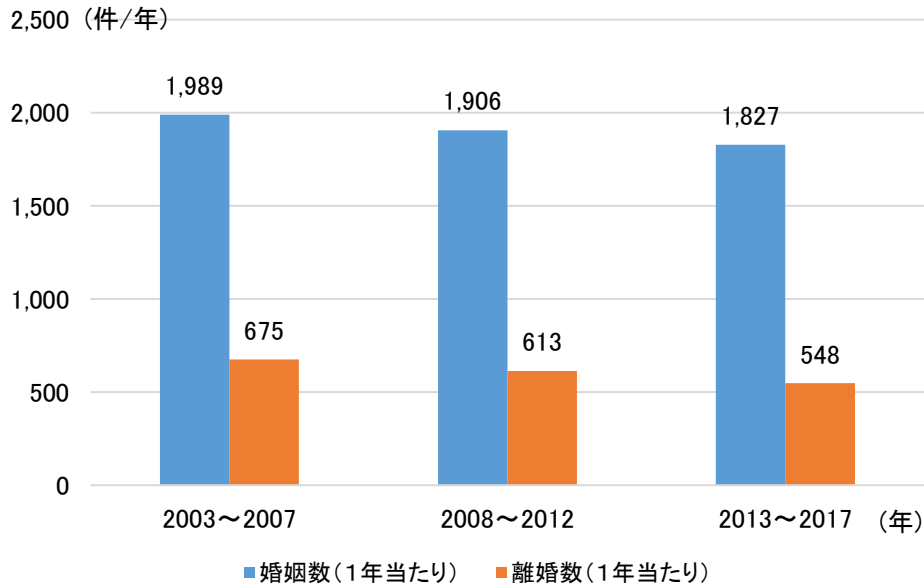
(資料) 中核市市長会「都市要覧」
 (注) 2022年3月時点



年間婚姻数・離婚数

吹田市の状況

【年間婚姻数・離婚数の推移】



(資料)厚生労働省「人口動態統計特殊報告」

- 吹田市の婚姻数、離婚数はいずれも減少傾向にある。
- 全国の中核市と比較すると婚姻数はやや多く、離婚数はやや少なくなっている。

他都市との比較

【年間婚姻数・離婚数(2013~2017年平均)】

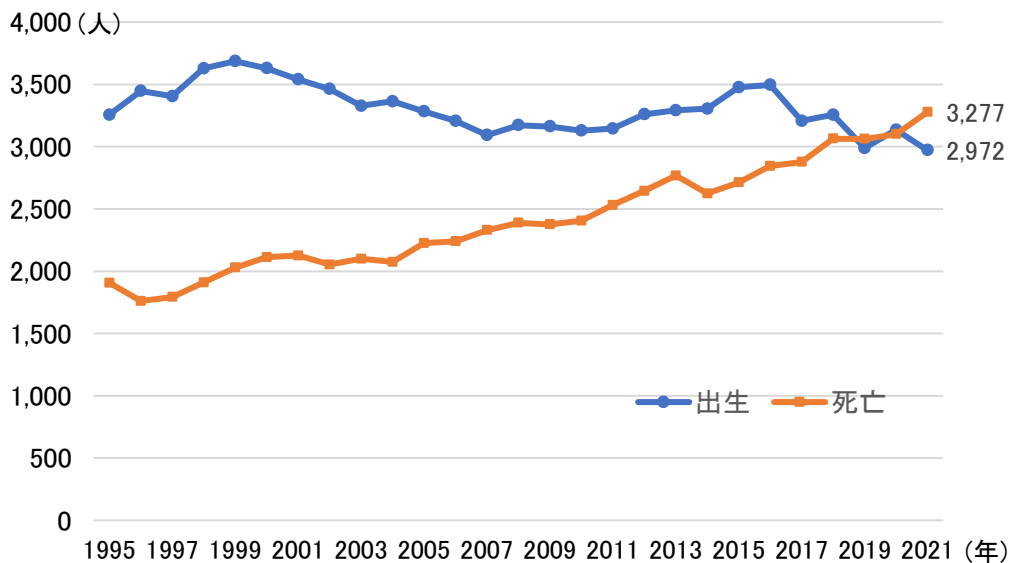
順位	中核市	1年当たり婚姻数 (件/年)	順位	中核市	1年当たり離婚数 (件/年)
1	船橋市	3,421	1	川口市	1,213
2	川口市	3,223	2	鹿児島市	1,104
3	鹿児島市	3,186	3	船橋市	1,035
4	宇都宮市	3,105	4	東大阪市	1,021
5	尼崎市	2,788	5	姫路市	982
6	姫路市	2,775	6	松山市	971
7	松山市	2,580	7	八王子市	962
8	倉敷市	2,575	8	尼崎市	952
9	豊田市	2,559	9	宇都宮市	951
10	大分市	2,470	10	大分市	943
...
27	吹田市	1,827	43	吹田市	548
28	高崎市	1,822	43	明石市	548
29	一宮市	1,808	45	大津市	544
30	横須賀市	1,792	46	八尾市	515
31	長野市	1,790	47	寝屋川市	502
32	郡山市	1,755	48	秋田市	499
33	枚方市	1,708	49	水戸市	487
34	川越市	1,695	50	盛岡市	476
35	越谷市	1,691	51	佐世保市	468
36	高槻市	1,651	52	下関市	466
...
62	鳥取市	874	62	松江市	316

(資料)厚生労働省「人口動態統計特殊報告」

自然増減

吹田市の状況

【出生数・死亡数の推移】



(資料)吹田市住民基本台帳

- 少子高齢化の進行に伴い、出生数の減少と死亡数の増加が続き、2021年には死亡数が出生数を上回る「自然減」となった。
- 一方で、全国の中核市と比べると、自然増減が2番目に大きい(自然減の幅が2番目に小さい)状況にある。

他都市との比較

【人口の自然増減(2021年)】

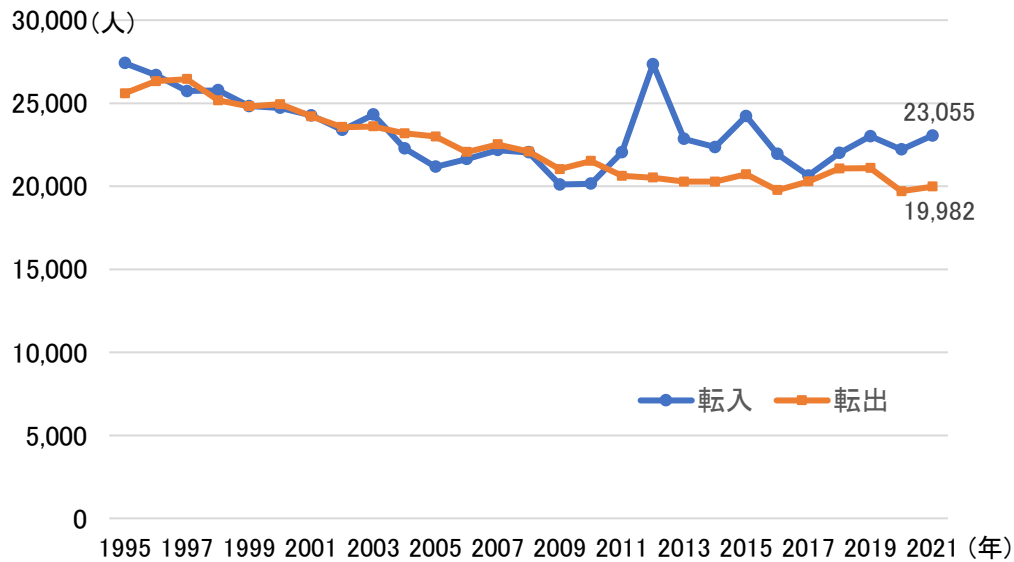
順位	中核市	自然増減 (人)	出生数 (人)	死亡数 (人)
1	岡崎市	△ 267	2,980	3,247
2	吹田市	△ 305	2,972	3,277
3	明石市	△ 323	2,734	3,057
4	豊田市	△ 365	3,049	3,414
5	那覇市	△ 448	2,630	3,078
6	大津市	△ 790	2,463	3,253
7	越谷市	△ 841	2,438	3,279
8	豊中市	△ 908	3,184	4,092
9	鳥取市	△ 977	1,296	2,273
10	柏市	△ 1,018	3,067	4,085
11	水戸市	△ 1,023	1,977	3,000
12	久留米市	△ 1,025	2,371	3,396
13	大分市	△ 1,026	3,651	4,677
14	松江市	△ 1,045	1,472	2,517
15	甲府市	△ 1,047	1,246	2,293
16	西宮市	△ 1,075	3,507	4,582
17	松本市	△ 1,088	1,574	2,662
18	倉敷市	△ 1,145	3,846	4,991
19	福井市	△ 1,150	1,939	3,089
20	高槻市	△ 1,202	2,475	3,677
...
62	横須賀市	△ 3,308	1,844	5,152

(資料)中核市市長会「都市要覧」

社会増減

吹田市の状況

【転入数・転出数の推移】



(資料)吹田市住民基本台帳

- 吹田시는、2011年以降、転入数が転出数を上回る「社会増」の状況となっている。
- また、全国の中核市と比べても、社会増減が2番目に大きいまちとなっている。

他都市との比較

【人口の社会増減(2021年)】

順位	中核市	社会増減 (人)	転入数 (人)	転出数 (人)
1	柏市	3,698	22,275	18,577
2	吹田市	3,073	23,055	19,982
3	八王子市	2,810	25,692	22,882
4	川口市	2,434	30,755	28,321
5	船橋市	2,103	32,432	30,329
6	川越市	1,386	15,888	14,502
7	明石市	844	10,812	9,968
8	大津市	821	12,043	11,222
9	水戸市	799	10,872	10,073
10	高崎市	557	12,687	12,130
11	奈良市	436	11,847	11,411
12	豊中市	408	19,149	18,741
13	越谷市	406	13,480	13,074
14	甲府市	395	8,013	7,618
15	大分市	285	13,943	13,658
16	西宮市	284	20,261	19,977
17	前橋市	261	11,109	10,848
18	鹿児島市	185	19,654	19,469
19	東大阪市	166	16,514	16,348
20	松本市	143	9,252	9,109
...
62	豊田市	△ 2,355	15,023	17,378

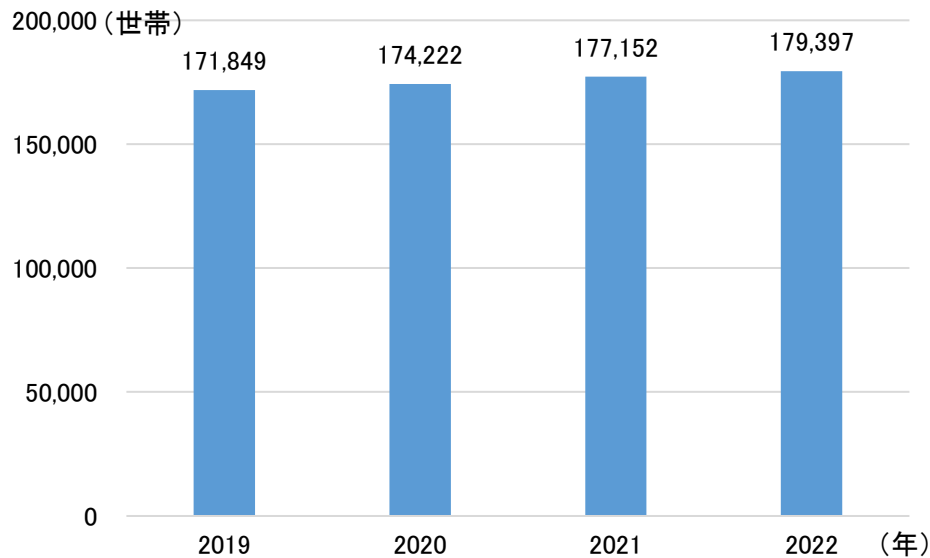
(資料)中核市市長会「都市要覧」



世帯数

吹田市の状況

【世帯数の推移】



(資料) 中核市市長会「都市要覧」

(注) 各年3月時点

- 吹田市の世帯数は増加傾向が続いている。
- 全国の中核市と比較すると、世帯数はやや多くなっている。

他都市との比較

【世帯数(2022年)】

順位	中核市	世帯数 (世帯)
1	船橋市	313,581
2	鹿児島市	300,950
3	川口市	296,539
4	八王子市	276,743
5	松山市	253,393
6	東大阪市	244,129
7	姫路市	243,798
8	宇都宮市	240,139
9	尼崎市	238,754
10	大分市	227,321
...
25	吹田市	179,397
26	旭川市	177,715
27	和歌山市	176,024
28	高崎市	169,015
29	岡崎市	166,994
30	奈良市	165,923
31	一宮市	164,965
32	川越市	164,413
33	高知市	163,964
34	長野市	163,228
...
62	鳥取市	81,064

(資料) 中核市市長会「都市要覧」

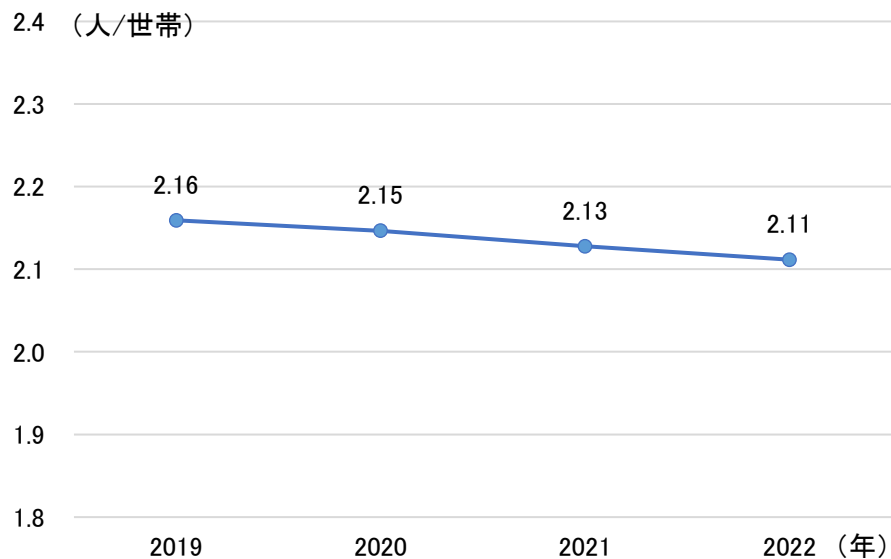
(注) 2022年3月時点



1世帯当たり人員

吹田市の状況

【1世帯当たり人員の推移】



(資料)中核市市長会「都市要覧」
(注) 各年3月時点

- 吹田市における1世帯当たり人員は減少傾向にある。
- 全国の中核市と比較すると、1世帯当たり人員は中位の水準にある。

他都市との比較

【1世帯当たり人員(2022年)】

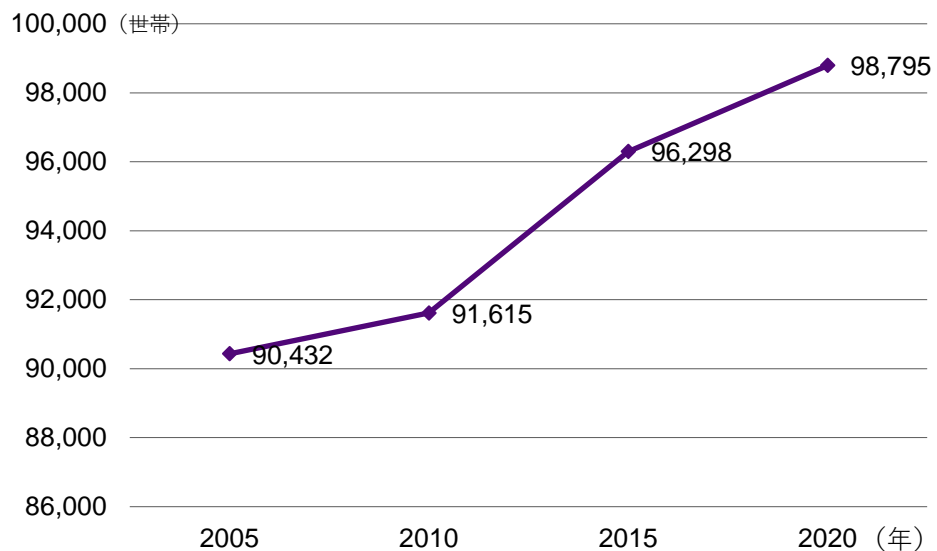
順位	中核市	1世帯当たり人員 (人/世帯)
1	福井市	2.44
2	一宮市	2.31
3	岡崎市	2.31
4	山形市	2.30
5	豊橋市	2.29
6	豊田市	2.28
7	鳥取市	2.27
8	長野市	2.26
9	富山市	2.24
10	前橋市	2.24
...
33	吹田市	2.11
34	横須賀市	2.10
35	高松市	2.10
36	大分市	2.10
37	水戸市	2.09
38	豊中市	2.08
39	八尾市	2.08
40	秋田市	2.06
41	盛岡市	2.06
42	船橋市	2.06
...
62	函館市	1.76

(資料)中核市市長会「都市要覧」
(注)2022年3月時点

核家族世帯数

吹田市の状況

【核家族世帯数】



(資料)総務省「国勢調査」

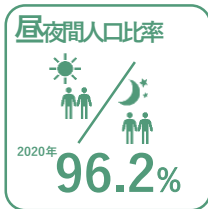
他都市との比較

【総世帯数に占める核家族世帯の割合(2020年)】

順位	北摂各市 府内中核市 施行時特例市	核家族世帯割合 (%)
-	大阪府	53.1
1	箕面市	62.0
2	高槻市	61.9
3	豊中市	61.1
4	八尾市	60.6
5	寝屋川市	60.4
6	枚方市	59.8
7	茨木市	59.5
8	岸和田市	59.4
9	摂津市	55.4
10	池田市	55.4
11	吹田市	54.9
12	東大阪市	51.8

(資料)総務省「国勢調査」

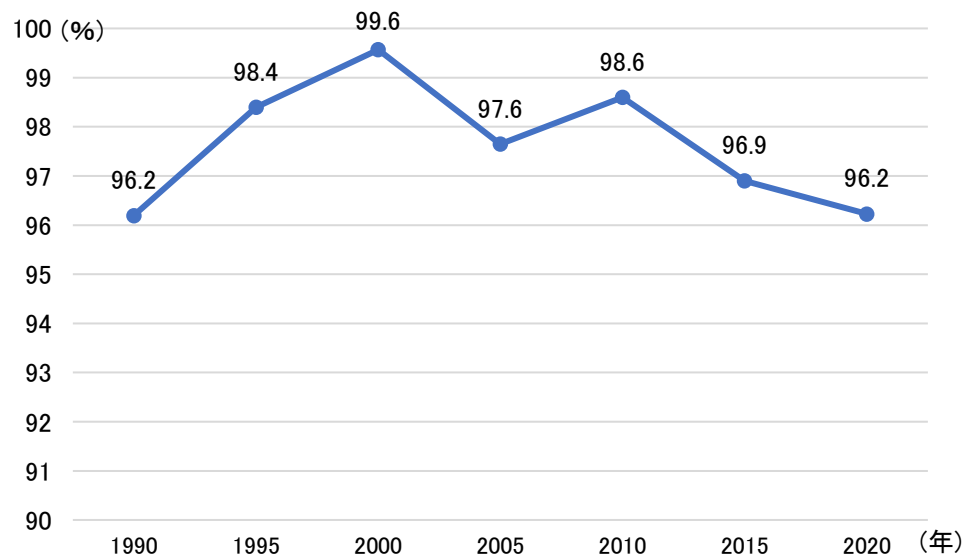
- 核家族世帯数は増加しているものの、核家族世帯の割合は北摂各市、府内中核市・施行時特例市の中では比較的低い。



昼夜間人口比率

吹田市の状況

【昼夜間人口比率の推移】



(資料) 総務省「国勢調査」、中核市市長会「都市要覧」

- 全国の中核市と比較すると、昼夜間人口比率が低くなっており、他都市へ通学・通勤している市民が多くなっている。
- 2000年以降、昼夜間人口比率は下降傾向にある。

他都市との比較

【昼夜間人口比率(2020年)】

順位	中核市	昼夜間人口比率 (%)
1	甲府市	113.1
2	豊田市	111.1
3	水戸市	109.2
4	福井市	109.1
5	那覇市	109.0
6	金沢市	107.5
7	山形市	106.4
8	松本市	105.8
9	富山市	105.7
10	盛岡市	104.4
...
46	吹田市	96.2
47	岡崎市	94.9
48	奈良市	94.7
49	八尾市	94.6
50	横須賀市	92.2
51	柏市	91.8
52	大津市	90.8
53	明石市	90.5
54	枚方市	89.6
55	豊中市	88.9
...
62	川口市	82.5

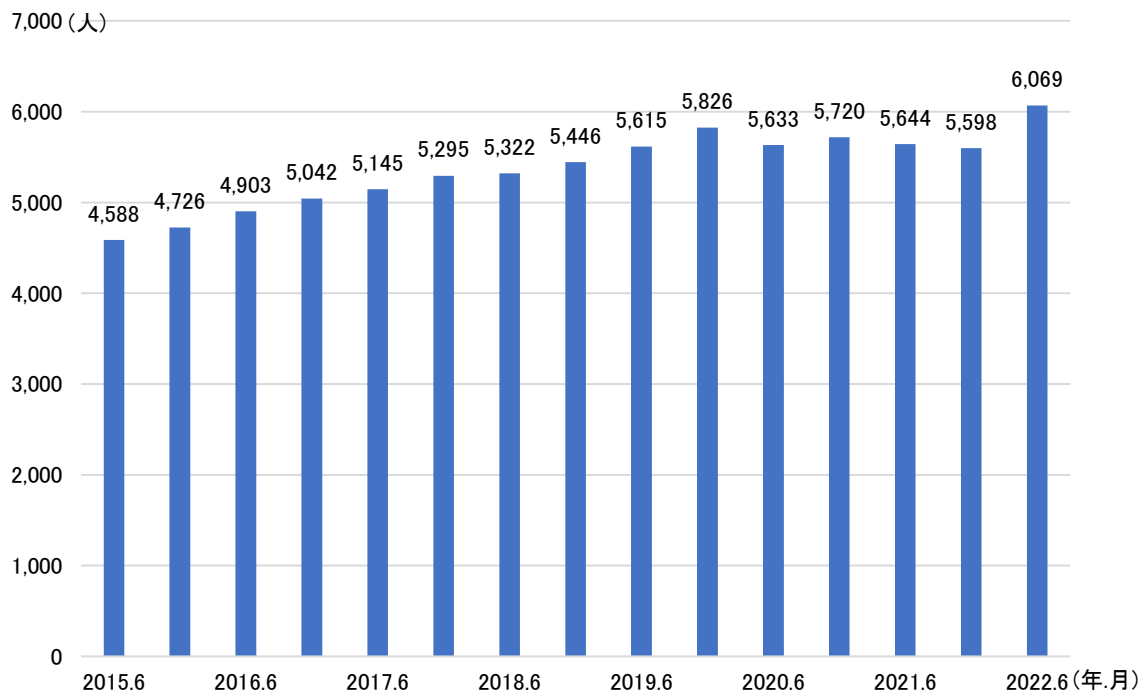
(資料) 中核市市長会「都市要覧」



外国人人口

吹田市の状況

【外国人人口の推移】



(資料)法務省「在留外国人統計」
(注) 各年6月、12月時点

- 新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴う入国制限等の影響もあり、2019年12月以降やや減少傾向にあったが、2022年6月には再び増加に転じている。
- 北摂各市、府内中核市・施行時特例市と比較して、総人口に占める割合は低いものの、外国人人口は多くなっている。

他都市との比較

【外国人人口・外国人人口割合(2022年)】

順位	北摂各市 府内中核市 施行時特例市	外国人人口 (人)
1	東大阪市	19,324
2	八尾市	8,017
3	豊中市	6,503
4	吹田市	6,069
5	枚方市	4,900
6	茨木市	3,991
7	高槻市	3,725
8	寝屋川市	3,293
9	岸和田市	2,964
10	箕面市	2,862
11	池田市	2,186
12	摂津市	1,687

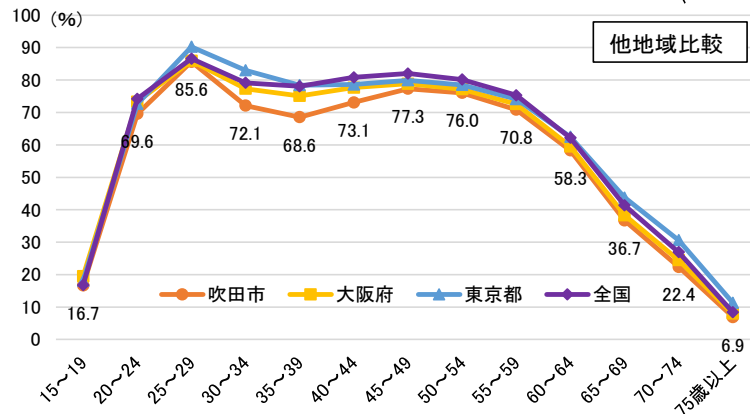
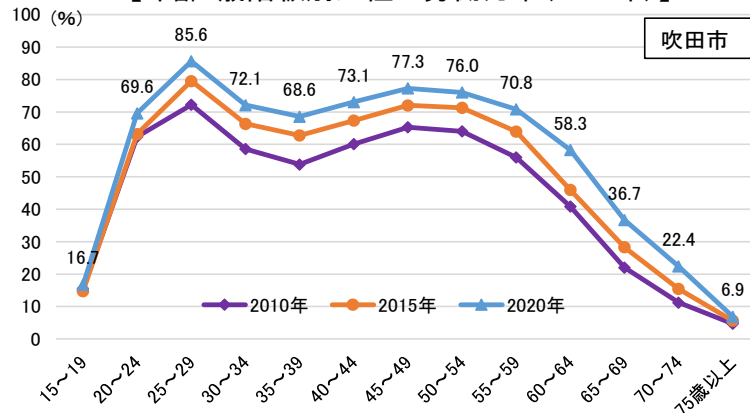
順位	北摂各市 府内中核市 施行時特例市	外国人人口 割合 (%)
1	東大阪市	3.95
2	八尾市	3.06
3	箕面市	2.09
4	池田市	2.08
5	摂津市	1.93
6	豊中市	1.63
7	岸和田市	1.58
8	吹田市	1.56
9	寝屋川市	1.45
10	茨木市	1.38
11	枚方市	1.24
12	高槻市	1.06

(資料)法務省「在留外国人統計」、大阪府「大阪府統計年鑑」
(注) 2022年6月時点

女性の労働力率

吹田市の状況

【年齢5歳階級別女性の労働力率(2020年)】



(資料)総務省「国勢調査」

- 2010年以降、吹田市の女性の労働力率には向上が見られる。一方、M字カーブの「谷」にあたる35~39歳の女性の労働力率は低い水準にある。
- また、全国及び大都市圏(東京都、大阪府)、北摂各市、府内中核市・施行時特例市と比較して、30歳代から40歳代の女性の労働力率が低く、「M字カーブ」が顕著である。

他都市との比較

【35~39歳女性の労働力率(2020年)】

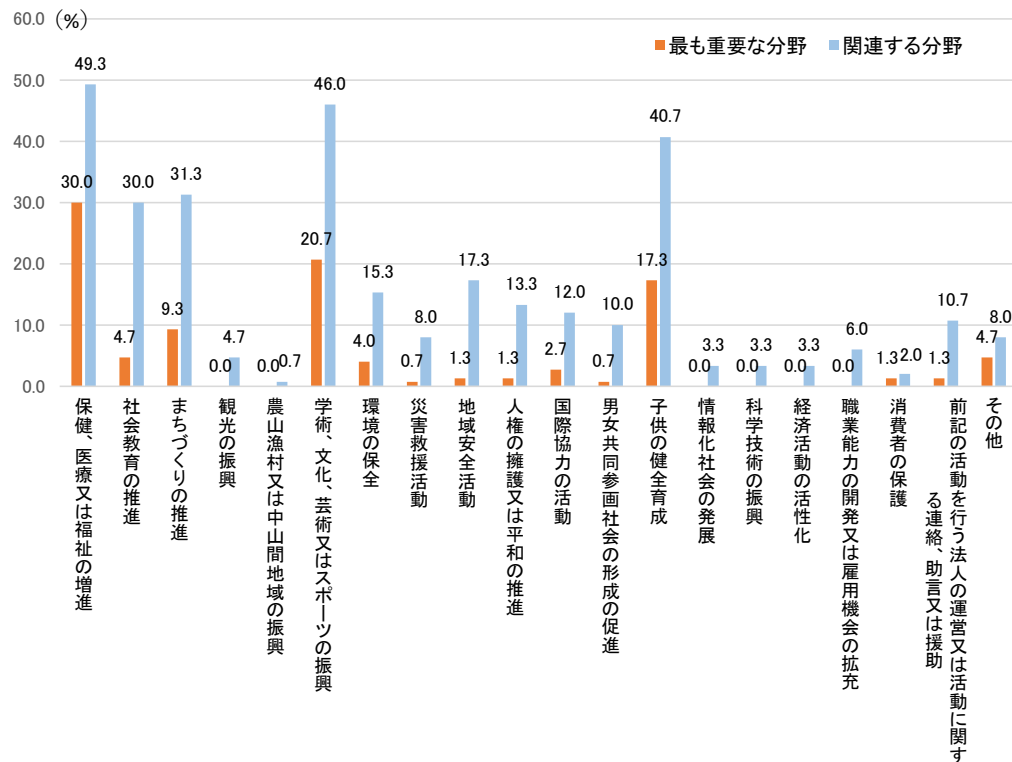
順位	北摂各市 府内中核市 施行時特例市	35~39歳 女性労働力率 (%)
1	岸和田市	78.18
2	摂津市	76.57
3	東大阪市	75.85
4	枚方市	74.60
5	八尾市	74.20
6	高槻市	74.04
7	寝屋川市	73.88
8	茨木市	72.18
9	池田市	70.38
10	箕面市	68.90
11	豊中市	68.62
12	吹田市	68.56

(資料)総務省「国勢調査」

市民活動団体数

吹田市の状況

【市民公益活動団体の活動分野】



(資料)吹田市長官公署「2017年度吹田市における市民公益活動団体実態調査」

- 吹田市では、特に、保健・医療・福祉分野、学術・文化・芸術・スポーツ分野、子供の育成分野で活動する団体が多くなっている。
- 北摂各市、府内中核市・施行時特例市と比べても、多くのNPO法人が活動している。

他都市との比較

【主たる事務所を置くNPO法人数(2022年)】

順位	北摂各市 府内中核市 施行時特例市	団体数 (団体)
1	東大阪市	154
2	吹田市	126
3	枚方市	115
4	豊中市	106
5	高槻市	105
6	茨木市	82
7	寝屋川市	74
8	岸和田市	71
9	八尾市	65
10	箕面市	61
11	池田市	46
12	摂津市	19

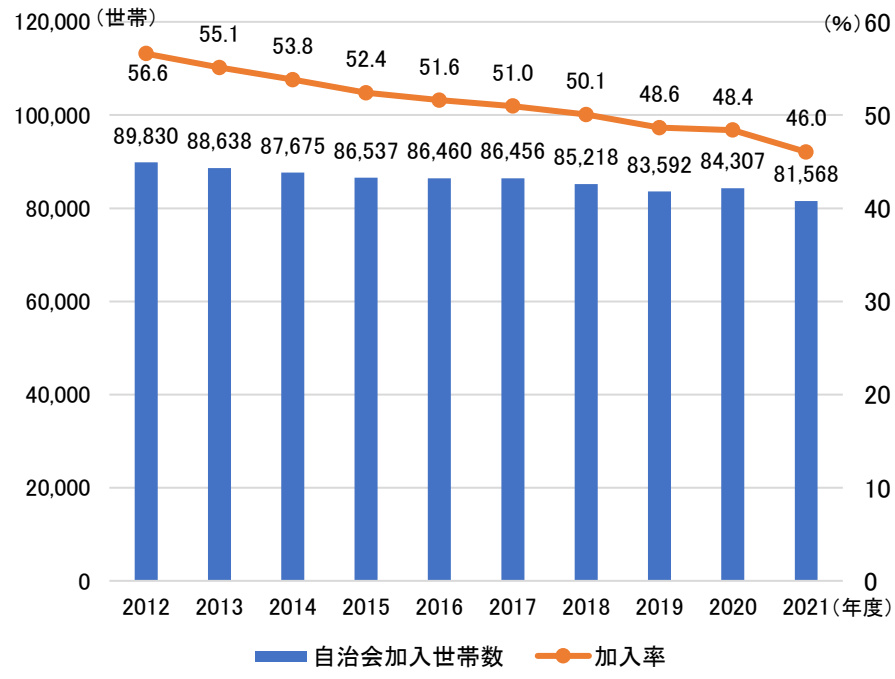
(資料)内閣府NPO法人ポータルサイトより、大阪府、大阪市、堺市が所管するNPO法人を出力し、該当する団体を抽出
(注)2022年9月時点



自治会加入率

吹田市の状況

【自治会加入世帯・加入率の推移】



(資料)吹田市オープンデータ

- 吹田市の自治会加入率は、減少傾向が続いており、2021年度は46.0%となっている。
- 全国中核市及び府内中核市と比較して、自治会加入率が低い状況にある。

他都市との比較

【中核市の自治会加入率(2021年度)】

順位	全国中核市	加入率 (%)
-	(平均)	68.0
1	長野市	95.8
2	高崎市	93.0
3	姫路市	89.6
4	岡崎市	89.0
5	大分市	87.8
6	盛岡市	87.0
7	前橋市	86.7
8	山形市	86.6
9	寝屋川市	85.0
10	富山市	84.0
...
54	八戸市	53.8
55	鹿児島市	52.1
56	宮崎市	52.0
57	函館市	51.0
58	吹田市	46.0
58	尼崎市	46.0
60	豊中市	37.9
61	那覇市	15.5

順位	府内中核市	加入率 (%)
-	(平均)	59.6
1	寝屋川市	85.0
2	枚方市	67.2
3	東大阪市	65.1
4	高槻市	57.4
5	八尾市	58.9
6	吹田市	46.0
7	豊中市	37.9

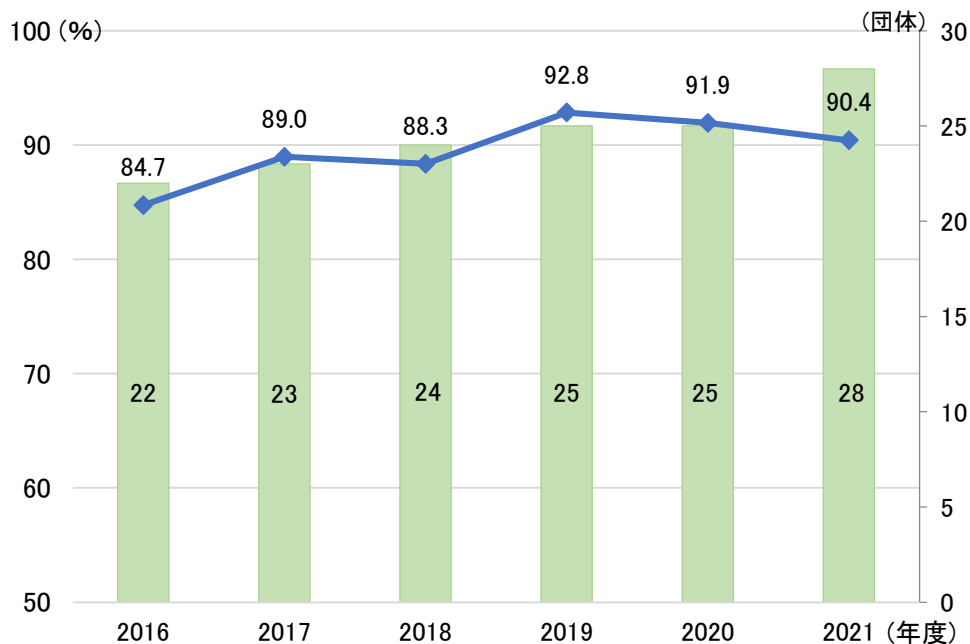
(資料)中核市市長会「都市要覧」

(注) 全国中核市内の順位には、倉敷市(参照資料にデータ記載なし)を含まない

地域別自主防災組織率

吹田市の状況

【自主防災組織(連合自治会単位)結成数及び地域別自主防災組織率(自主防災組織による世帯カバー率)の推移】



(資料)吹田市オープンデータ
大阪府「防災・減災ポータルサイト 地域別自主防災組織の現況」
(注) 各年度4月1日時点

- 自主防災組織(連合自治会単位)は、2021年度時点で、全34連合自治会中、28連合自治会で結成されており、継続して増加している。
- 吹田市の地域別自主防災組織率(自主防災組織による世帯カバー率)は、2019年度まで上昇傾向にあったが、近年はやや下降傾向にあり、北摂各市、府内中核市・施行時特例市と比較して、やや低い水準となっている。

他都市との比較

【地域別自主防災組織率(自主防災組織による世帯カバー率)(2021年度)】

順位	北摂各市 府内中核市 施行時特例市	地域別自主 防災組織率 (%)
1	池田市	100.0
1	枚方市	100.0
1	寝屋川市	100.0
1	東大阪市	100.0
1	箕面市	100.0
1	摂津市	100.0
7	高槻市	95.7
8	茨木市	94.7
9	岸和田市	91.8
10	吹田市	90.4
11	豊中市	87.8
12	八尾市	52.9

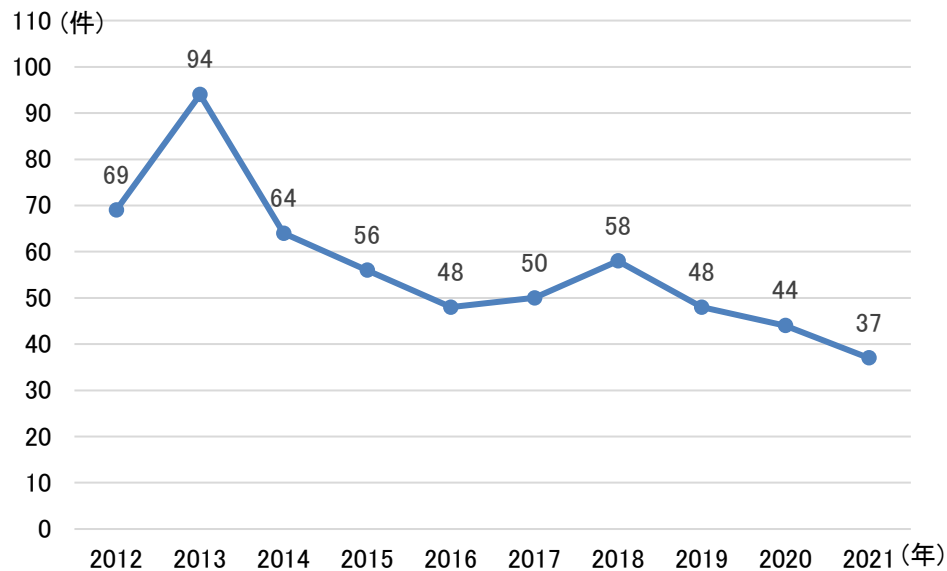
(資料)大阪府「防災・減災ポータルサイト 地域別自主防災組織の現況」
(注) 2021年4月1日時点



火災発生件数

吹田市の状況

【火災発生件数の推移】



(資料)大阪府「大阪府統計年鑑」

- 吹田市の火災発生件数は、概ね減少傾向にあり、2021年の火災発生件数は、2013年の約4割程度まで減少している。
- 北摂各市、府内中核市・施行時特例市と比較して、中位の水準にある。

他都市との比較

【火災発生件数(2021年)】

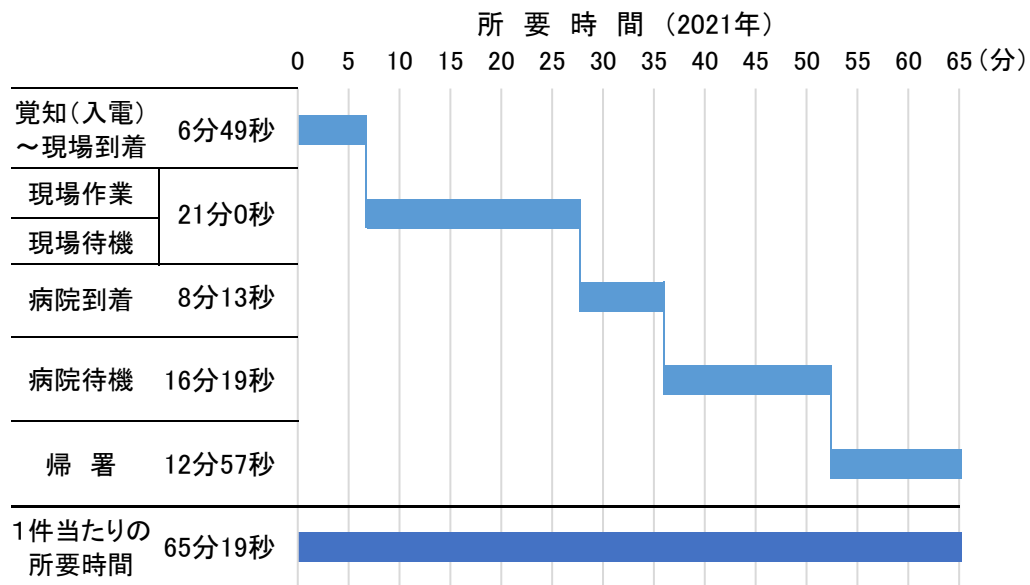
順位	北摂各市 府内中核市 施行時特例市	火災 発生件数 (件)
1	東大阪市	152
2	枚方市	98
3	豊中市	78
4	高槻市	70
5	岸和田市	64
6	寝屋川市	49
7	吹田市	37
8	摂津市	29
9	八尾市	29
10	茨木市	27
11	箕面市	13
12	池田市	10

(資料)大阪府「大阪府統計年鑑」

救急出動現場到着所要時間

吹田市の状況

【救急活動の平均所要時間状況】



(資料)吹田市「消防年報」

他都市との比較

【救急出動現場到着所要時間(2021年)】

救急出動現場到着 所要時間	
吹田市	6分49秒
大阪府平均	8分30秒
全国平均	9分24秒

(資料)総務省消防庁「救急救助の現況」

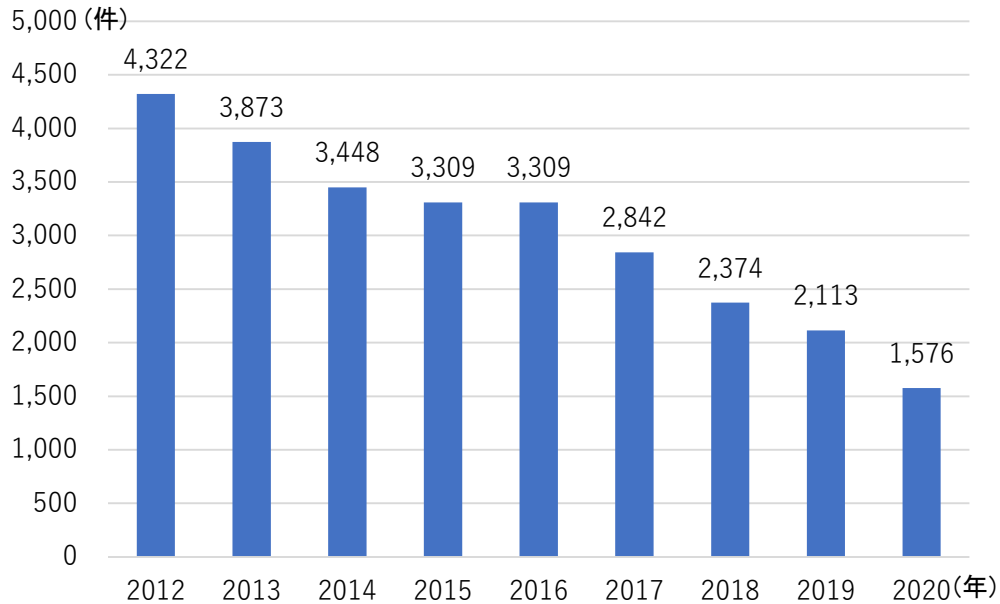
- 吹田市の救急活動における覚知(入電)から現場到着までの所要時間は平均6分49秒となっている。
- 全国平均、大阪府平均と比べると、約2分所要時間が短くなっている。



刑法犯認知件数

吹田市の状況

【刑法犯認知件数の推移】



(資料)大阪府「大阪府統計年鑑」

- 吹田市の刑法犯認知件数は、減少傾向にあり、2020年は2012年の約3分の1である。
- 北摂各市、府内中核市・施行時特例市と比較して、人口千人当たり刑法犯認知件数は最も少なくなっている。

他都市との比較

【刑法犯認知件数(2020年)】

順位	北摂各市 府内中核市 施行時特例市	千人当たり 刑法犯認知件数 (件)
1	東大阪市	7.81
2	岸和田市	7.58
3	摂津市	6.52
4	八尾市	6.51
5	寝屋川市	6.38
6	茨木市	5.10
7	豊中市	4.66
8	池田市	4.29
9	箕面市	4.18
10	枚方市	4.15
11	高槻市	4.13
12	吹田市	4.09

(資料)大阪府「大阪府統計年鑑」、総務省「国勢調査」

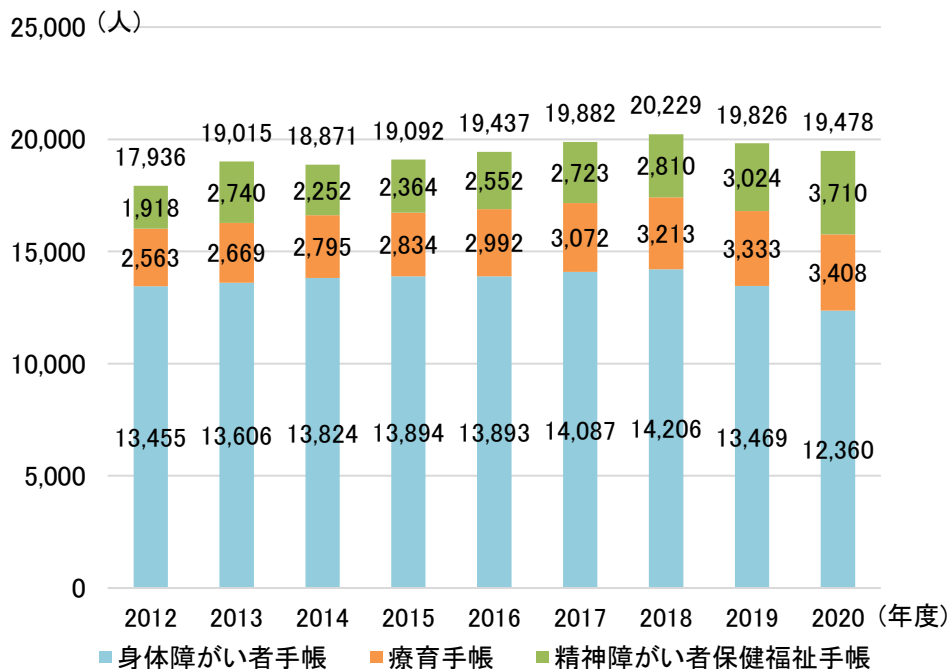
(注) 人口は2020年10月1日時点



障害者手帳交付人数

吹田市の状況

【障害者手帳交付人数の推移】



(資料)大阪府「大阪府統計年鑑」

他都市との比較

【障害者手帳交付人数(2020年度)】

順位	北摂各市 府内中核市 施行時特例市	障害者手帳 交付人数 (人)
1	東大阪市	34,022
2	枚方市	23,416
3	豊中市	21,115
4	高槻市	20,400
5	吹田市	19,478
6	八尾市	16,611
7	寝屋川市	14,361
8	茨木市	13,744
9	岸和田市	12,339
10	箕面市	6,119
11	池田市	5,024
12	摂津市	4,704

(資料)大阪府「大阪府統計年鑑」

(注) 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付人数の合計

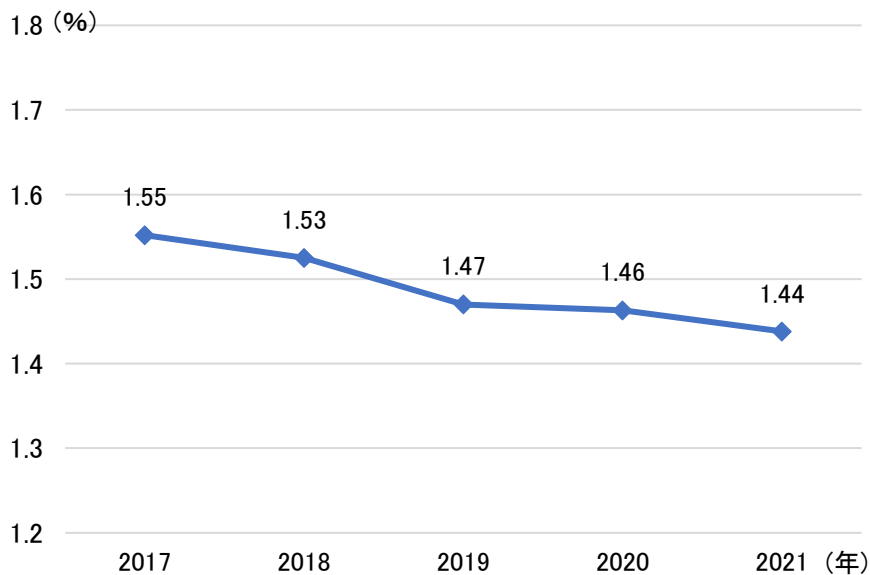
- 吹田市の障害者手帳交付人数(身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の合計)は、2万人前後を推移している。
- 北摂各市、府内中核市・施行時特例市と比較して、人数はやや多くなっている。



生活保護受給率

吹田市の状況

【生活保護受給率の推移】



(資料)吹田市福祉部生活福祉室作成資料

(注) 各年12月1日時点

他都市との比較

【生活保護受給率(2021年)】

順位	北摂各市 府内中核市 施行時特例市	生活保護 受給率 (%)
1	東大阪市	3.41
2	寝屋川市	3.24
3	八尾市	3.03
4	岸和田市	3.01
5	豊中市	2.38
6	枚方市	1.93
7	摂津市	1.68
8	高槻市	1.62
9	吹田市	1.44
10	茨木市	1.16
11	箕面市	0.89
12	池田市	0.76

(資料)大阪府福祉部地域福祉推進室提供資料

(注) 2021年12月1日時点

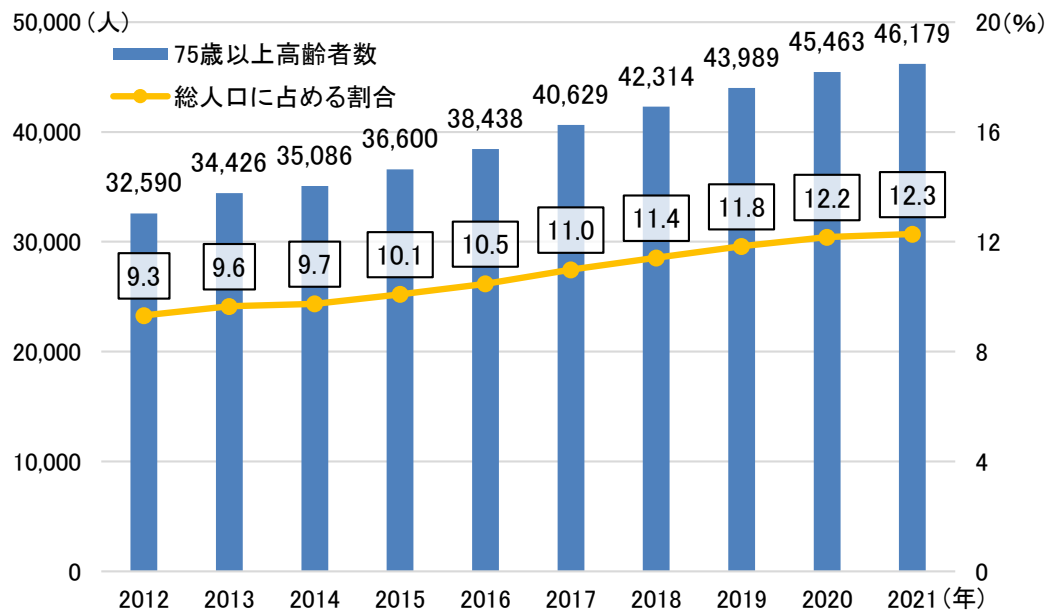
- 吹田市の生活保護受給率は、下降傾向にある。
- 北摂各市、府内中核市・施行時特例市と比較して、生活保護受給率は低い状況にある。



75歳以上高齢者数

吹田市の状況

【75歳以上高齢者数・総人口に占める割合の推移】



(資料)大阪府「大阪府統計年鑑」
(注) 各年1月1日時点

他都市との比較

【75歳以上高齢者の総人口に占める割合(2021年)】

順位	北摂各市 府内中核市 施行時特例市	75歳以上 高齢者割合 (%)
1	高槻市	15.8
2	寝屋川市	15.6
3	八尾市	15.2
4	東大阪市	14.9
5	枚方市	14.4
6	池田市	14.4
7	岸和田市	14.4
8	豊中市	13.8
9	箕面市	13.1
10	摂津市	13.1
11	吹田市	12.3
12	茨木市	12.2

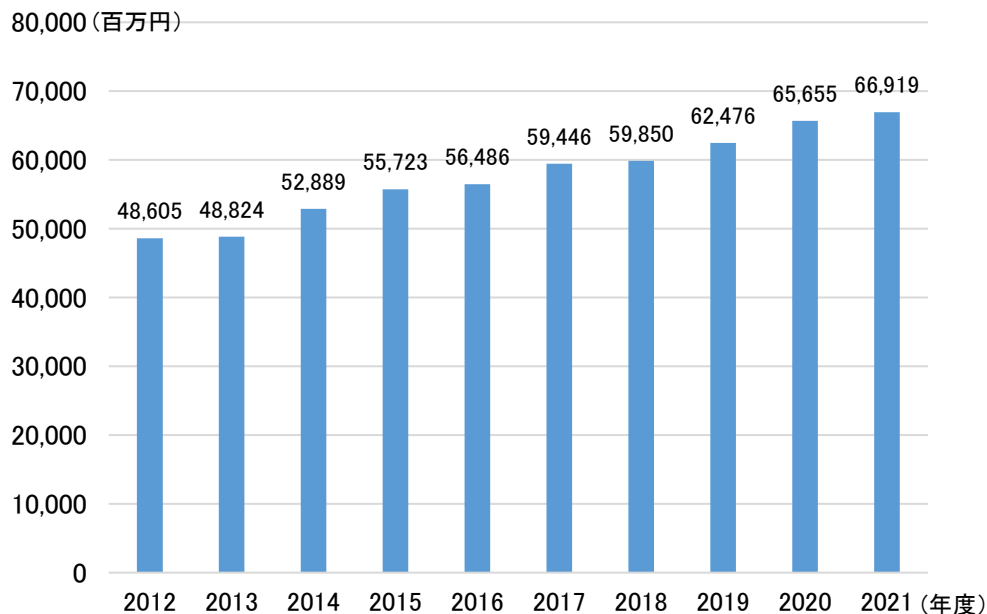
(資料)大阪府「大阪府統計年鑑」
(注) 2021年1月1日時点

- 75歳以上高齢者数は一貫して増加しており、総人口に占める割合は12%を超えている。
- 北摂各市、府内中核市・施行時特例市と比較して、総人口に占める割合は低くなっている。

福祉関係経費

吹田市の状況

【民生費(福祉関係経費)の推移】



(資料)吹田市統計書、吹田市一般会計・特別会計歳入歳出決算に係る主要な施策の成果および基金に関する報告書(2021年度)

- これまでの10年間で民生費(福祉関係経費)は一貫して増加している。
- 北摂各市、府内中核市・施行時特例市と比較して高齢人口割合が小さく、人口1人当たり民生費の水準は中位にある。

他都市との比較

【人口1人当たり民生費、高齢人口割合(2021年度)】

順位	北摂各市 府内中核市 施行時特例市	人口1人 当たり 民生費 (円/人)	順位	北摂各市 府内中核市 施行時特例市	高齢人口 割合 (%)
1	東大阪市	217,291	1	寝屋川市	30.5
2	八尾市	211,066	2	枚方市	30.5
3	岸和田市	199,987	3	高槻市	29.6
4	豊中市	199,513	4	八尾市	29.0
5	寝屋川市	198,737	5	東大阪市	28.9
6	摂津市	184,357	6	岸和田市	28.8
7	枚方市	176,558	7	池田市	27.2
8	吹田市	169,428	8	豊中市	26.3
9	箕面市	166,744	9	箕面市	26.0
10	高槻市	164,925	10	摂津市	26.0
11	茨木市	163,591	11	茨木市	24.8
12	池田市	157,045	12	吹田市	23.8

(資料)大阪府「大阪府統計年鑑」

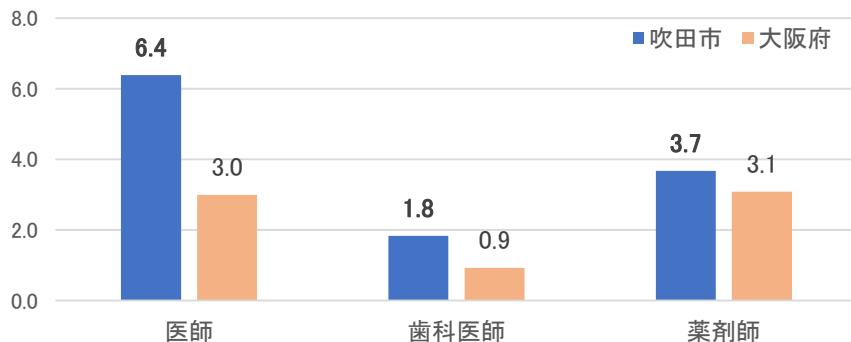
(注)人口1人当たり民生費は、令和3年度民生費及び令和3年1月時点住民基本台帳人口より算出



医療従事者数・施設数

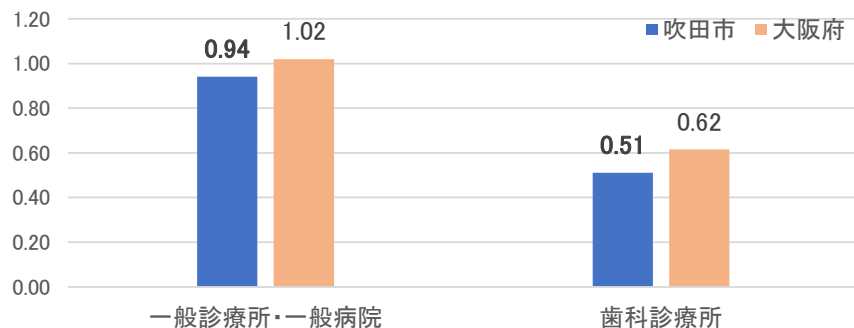
吹田市の状況

【人口千人当たり医療従事者数(2020年)】



(資料)厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計」、総務省「国勢調査」

【人口千人当たり医療施設数(2020年)】



(資料)厚生労働省「医療施設調査」、総務省「国勢調査」

- 人口千人当たりの医療従事者は大阪府平均を上回っており、特に医師数は倍以上の水準となっている。
- 北摂各市、府内中核市・施行時特例市と比較すると、人口千人当たりの医師数・病院数ともに、高い水準にある。

他都市との比較

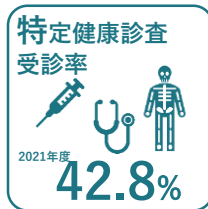
【人口千人当たり医師数・病院数(2020年)】

順位	北摂各市 府内中核市 施行時特例市	人口千人 当たり医師数 (人)
1	吹田市	6.39
2	高槻市	4.48
3	枚方市	3.22
4	池田市	2.65
5	箕面市	2.45
6	岸和田市	2.45
7	豊中市	2.25
8	八尾市	2.01
9	東大阪市	1.93
10	茨木市	1.72
11	寝屋川市	1.71
12	摂津市	0.93

順位	北摂各市 府内中核市 施行時特例市	人口千人 当たり病院数 (施設)
1	豊中市	1.08
2	池田市	1.00
3	吹田市	0.94
4	箕面市	0.93
5	高槻市	0.87
6	寝屋川市	0.87
7	茨木市	0.85
8	東大阪市	0.85
9	八尾市	0.84
10	岸和田市	0.79
11	枚方市	0.77
12	摂津市	0.69

(資料)厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計」、厚生労働省「医療施設調査」、総務省「国勢調査」

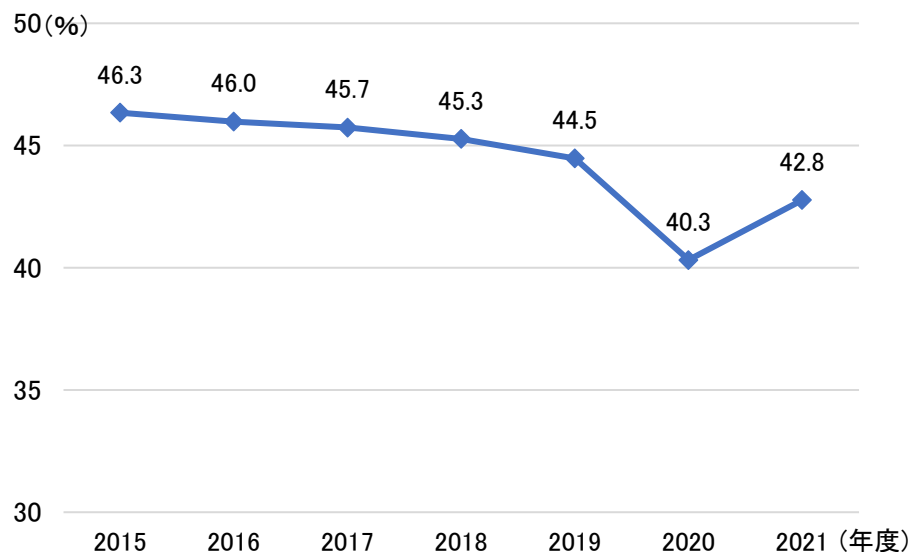
(注) 病院数は、一般診療所数と一般病院数の合計



特定健康診査受診率

吹田市の状況

【特定健康診査受診率の推移】



(資料)大阪府「府内市町村の国民健康保険各種データ」

他都市との比較

【特定健康診査受診率(2021年度)】

順位	北摂各市 府内中核市 施行時特例市	受診率 (%)
1	吹田市	42.8
2	池田市	37.8
3	高槻市	35.8
4	箕面市	34.7
5	寝屋川市	33.6
6	枚方市	31.2
7	八尾市	30.7
8	摂津市	30.3
9	茨木市	30.2
10	岸和田市	27.8
11	東大阪市	26.5
12	豊中市	25.5

(資料)大阪府「府内市町村の国民健康保険各種データ」

- 吹田市の特定健康診査受診率は下降傾向にある。2020年度には大きく下降し、2021年度に上昇が見られるも、コロナ禍以前の水準を下回っている。
- 一方で、北摂各市、府内中核市・施行時特例市と比較して、2021年度の受診率は最も高くなっている。

平均寿命

男性 82.6歳

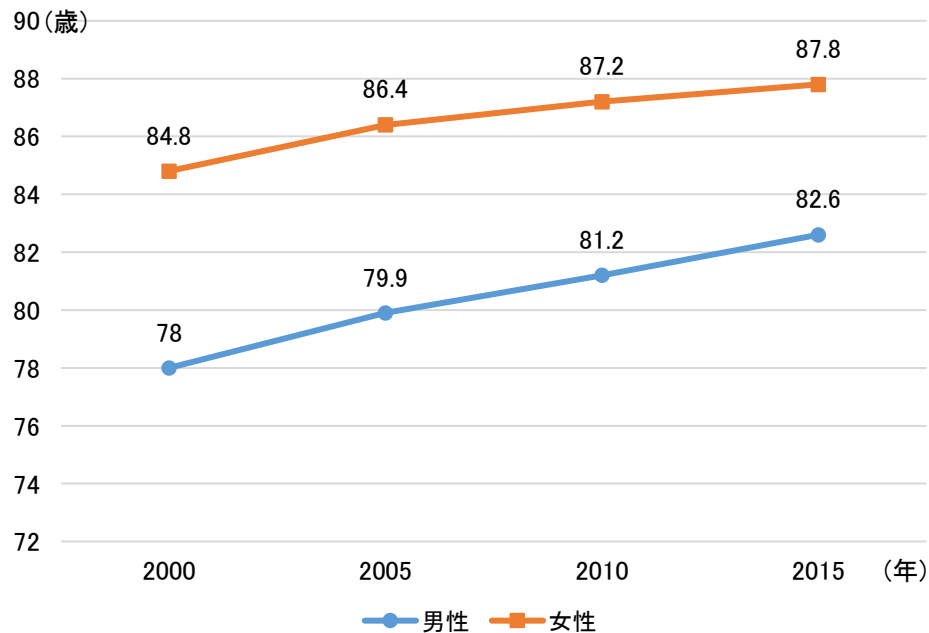
女性 87.8歳

2015年

平均寿命

吹田市の状況

【平均寿命の推移】



(資料)厚生労働省「市区町村別生命表」

- 吹田市では、男女ともに平均寿命は上昇を続けている。
- 北摂各市、府内中核市・施行時特例市と比較して、男女ともに平均寿命は上位にある(男性1位、女性2位)。

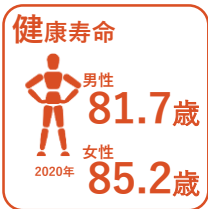
他都市との比較

【平均寿命(2015年)】

順位	北摂各市 府内中核市 施行時特例市	男性 平均寿命 (歳)
1	吹田市	82.6
2	箕面市	82.5
3	池田市	82.1
4	茨木市	81.7
5	枚方市	81.6
6	高槻市	81.5
7	豊中市	81.2
8	寝屋川市	80.7
9	摂津市	80.3
10	八尾市	80.1
11	東大阪市	80.0
12	岸和田市	79.6

順位	北摂各市 府内中核市 施行時特例市	女性 平均寿命 (歳)
1	箕面市	88.2
2	吹田市	87.8
2	枚方市	87.8
4	池田市	87.5
4	高槻市	87.5
4	茨木市	87.5
7	豊中市	87.3
8	摂津市	86.7
9	八尾市	86.6
10	寝屋川市	86.5
11	東大阪市	86.4
12	岸和田市	86.2

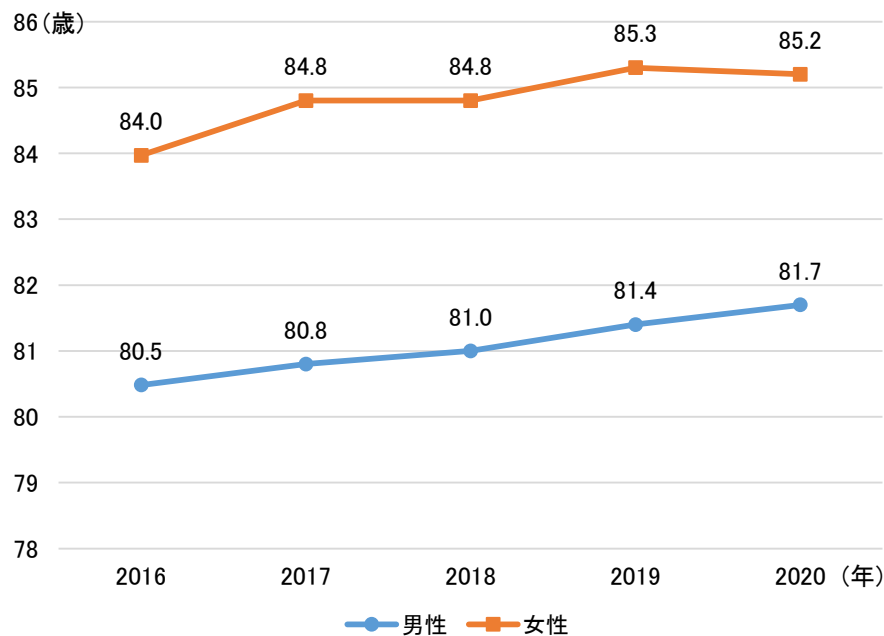
(資料)厚生労働省「市区町村別生命表」



健康寿命

吹田市の状況

【健康寿命の推移】



(資料)大阪府健康医療部健康推進室提供資料

- 健康寿命は、男性では一貫して上昇傾向にあるのに対し、女性は近年やや伸び悩みが見られる。
- 北摂各市、府内中核市・施行時特例市と比較して、男女ともに健康寿命は3番目の水準となっている。

他都市との比較

【健康寿命(2020年)】

順位	北摂各市 府内中核市 施行時特例市	男性 健康寿命 (歳)	順位	北摂各市 府内中核市 施行時特例市	女性 健康寿命 (歳)
1	箕面市	82.7	1	高槻市	86.0
2	高槻市	82.2	2	箕面市	85.3
3	吹田市	81.7	3	吹田市	85.2
3	池田市	81.7	4	池田市	85.1
5	茨木市	80.7	5	豊中市	84.6
6	豊中市	80.4	6	茨木市	84.4
7	枚方市	80.2	7	枚方市	84.1
8	摂津市	80.1	8	寝屋川市	83.8
9	八尾市	79.4	9	岸和田市	83.6
10	東大阪市	79.3	10	摂津市	83.5
11	寝屋川市	79.1	11	東大阪市	83.0
12	岸和田市	78.8	12	八尾市	82.8

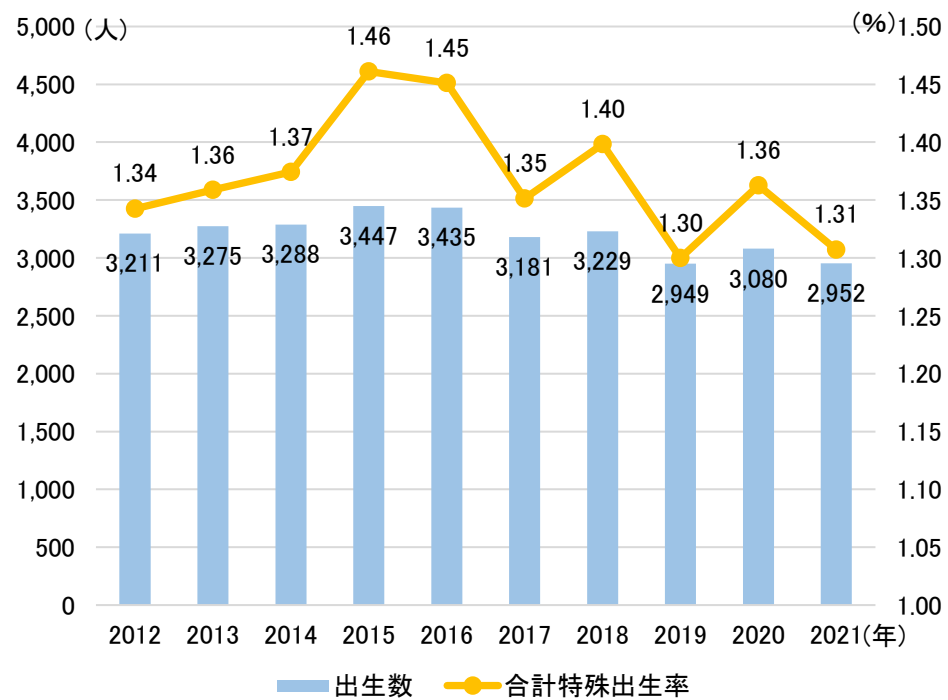
(資料)大阪府健康医療部健康推進室提供資料



出生数

吹田市の状況

【出生数・合計特殊出生率の推移】



(資料)厚生労働省「人口動態統計」、総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」
 (注) 合計特殊出生率の算出に当たっては、上記の資料を用いて算出した15～49歳女性の年齢階級別出生率を合計する簡易方式を用いている

- 出生数・合計特殊出生率は、2012年から2015年にかけて上昇がみられたが、2016年以降は減少傾向に転じている。
- 北摂各市、府内中核市・施行時特例市の合計特殊出生率と比較すると、直近の統計では中位に位置している。

他都市との比較

【合計特殊出生率】

2008～2012年			2013～2017年		
順位	北摂各市 府内中核市 施行時特例市	合計特殊 出生率	順位	北摂各市 府内中核市 施行時特例市	合計特殊 出生率
1	岸和田市	1.540	1	摂津市	1.568
2	摂津市	1.500	2	豊中市	1.532
3	寝屋川市	1.440	3	岸和田市	1.529
4	茨木市	1.410	4	茨木市	1.512
5	八尾市	1.370	5	寝屋川市	1.469
6	豊中市	1.360	6	箕面市	1.466
7	東大阪市	1.340	7	吹田市	1.455
8	高槻市	1.330	8	八尾市	1.436
8	枚方市	1.330	9	高槻市	1.418
10	池田市	1.320	10	池田市	1.390
11	吹田市	1.290	11	枚方市	1.381
12	箕面市	1.280	12	東大阪市	1.363

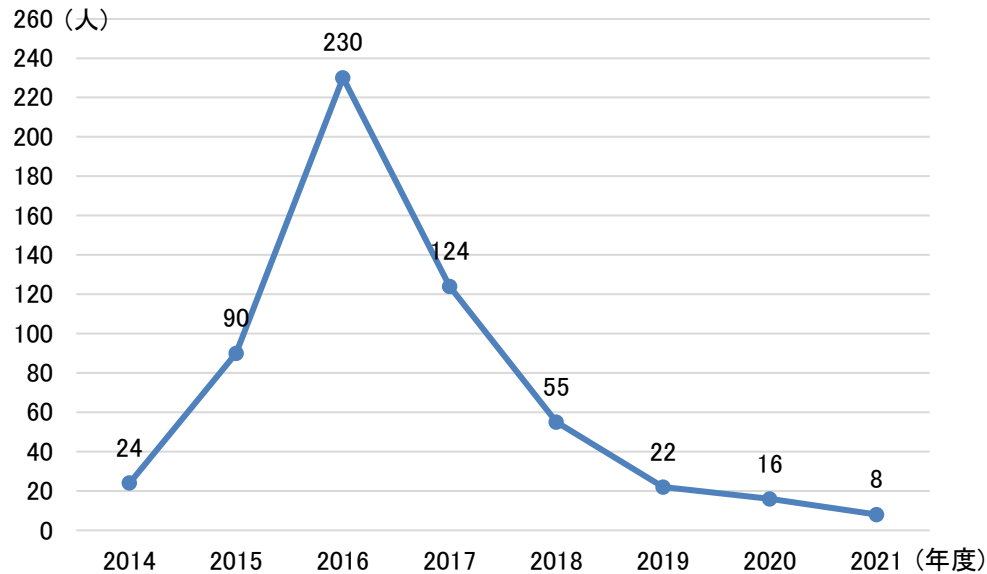
(資料)厚生労働省「人口動態統計特殊報告」
 (注) 上表の合計特殊出生率は、偶発的な出生数等の増減による影響を減少させるため、ベイズ推定により補正を行っているため、左図のものと算出方法が異なる



待機児童数

吹田市の状況

【待機児童数の推移】



(資料)大阪府「大阪府統計年鑑」
(注) 各年度4月1日時点

他都市との比較

【待機児童数(2021年度)】

順位	北摂各市 府内中核市 施行時特例市	待機 児童数 (人)
1	豊中市	0
1	枚方市	0
1	東大阪市	0
1	高槻市	0
1	茨木市	0
1	八尾市	0
1	寝屋川市	0
1	箕面市	0
1	池田市	0
10	吹田市	8
11	岸和田市	16
12	摂津市	24

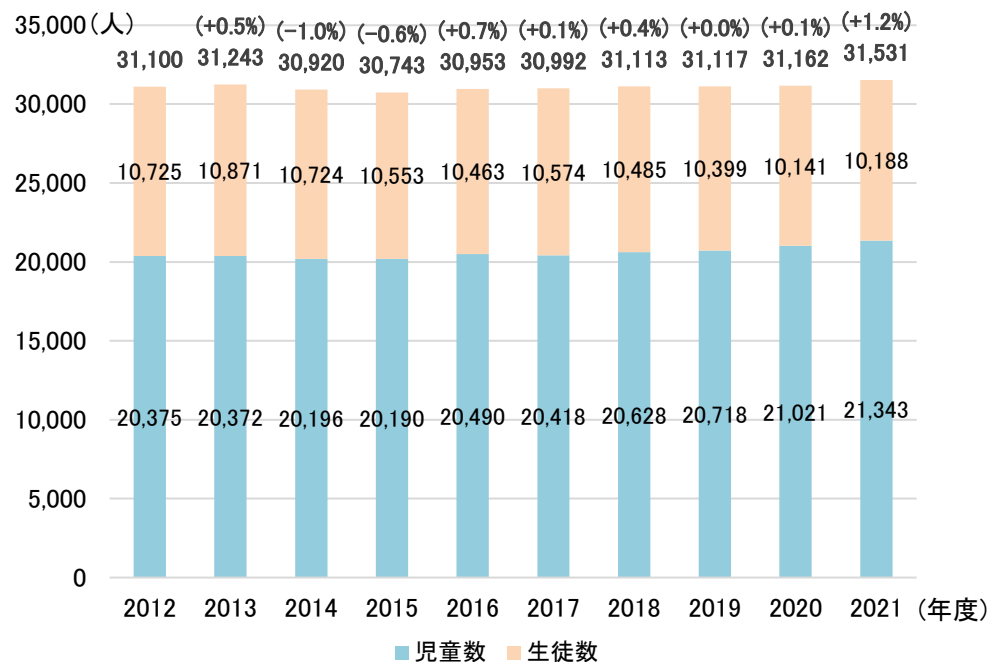
(資料)大阪府「大阪府統計年鑑」
(注) 2021年4月1日時点

- 吹田市の待機児童数は、2016年をピークとして、2021年にかけて大きく改善し、2022年には0となった。
- 北摂各市、府内中核市・施行時特例市と比較すると、他市では待機児童数0の都市が多くなっている。

児童・生徒数

吹田市の状況

【児童・生徒数の推移】



(資料)大阪府「大阪府統計年鑑」

(注) 各年度5月1日時点。図表中の括弧内の数値は、対前年度増加率

- 2012年から2015年にかけて、児童・生徒数はやや減少傾向にあったが、2016年以降はやや増加傾向にある。
- 北摂各市、府内中核市・施行時特例市と比較しても、豊中市に次いで児童・生徒数が多くなっている。

他都市との比較

【児童・生徒数(2021年度)】

順位	北摂各市 府内中核市 施行時特例市	児童・生徒数 (人)
1	豊中市	32,773
2	吹田市	31,531
3	枚方市	31,462
4	東大阪市	31,114
5	高槻市	27,590
6	茨木市	24,405
7	八尾市	18,742
8	寝屋川市	17,232
9	岸和田市	14,813
10	箕面市	13,410
11	池田市	8,176
12	摂津市	6,312

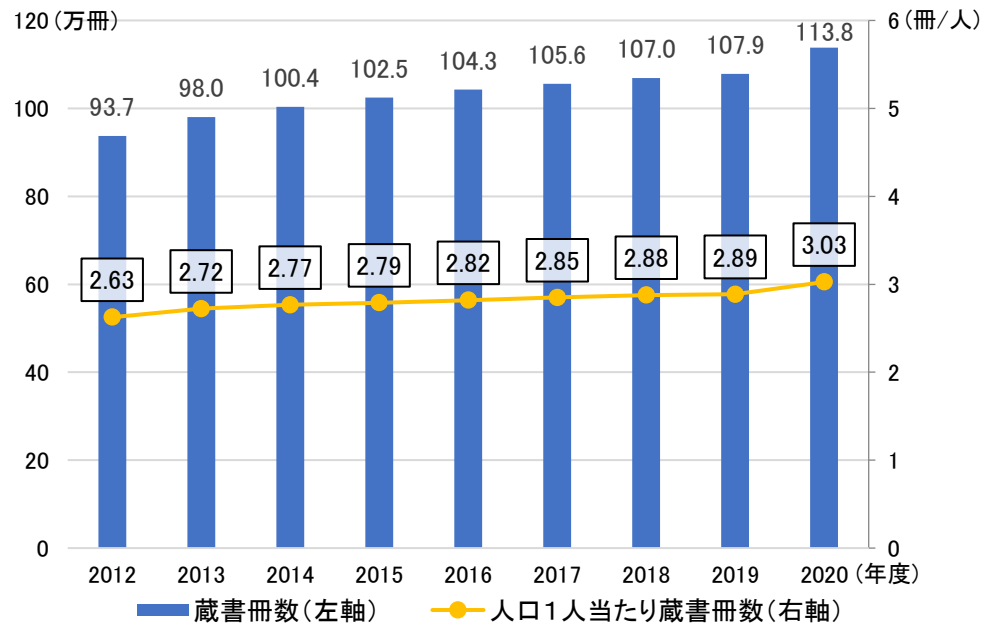
(資料)大阪府「大阪府統計年鑑」

(注) 2021年5月1日時点

公立図書館蔵書冊数

吹田市の状況

【公立図書館蔵書冊数の推移】



(資料)大阪府「大阪府統計年鑑」
(注) 人口は各年度1月1日時点

- 吹田市の公立図書館の蔵書冊数は、一貫して増加傾向にあり、人口1人当たり約3冊となっている。
- 北摂各市、府内中核市・施行時特例市と比較して、人口1人当たり蔵書冊数はやや多くなっている。

他都市との比較

【人口1人当たり公立図書館蔵書冊数(2020年度)】

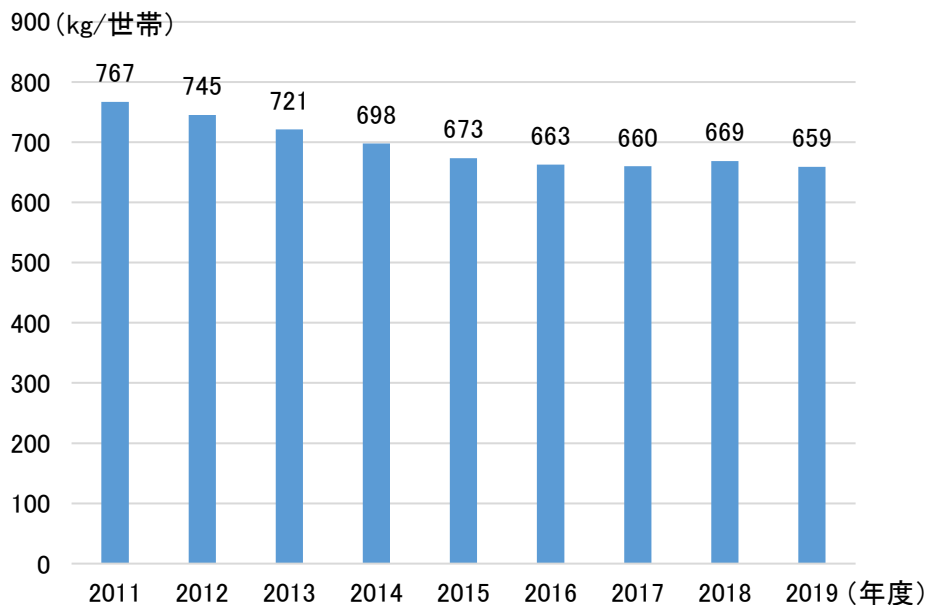
順位	北摂各市 府内中核市 施行時特例市	人口1人 当たり 蔵書冊 数 (冊/人)
1	箕面市	5.80
2	茨木市	4.47
3	高槻市	4.41
4	池田市	3.63
5	吹田市	3.03
6	枚方市	3.02
7	岸和田市	2.87
8	八尾市	2.59
9	摂津市	2.56
10	寝屋川市	2.38
11	豊中市	2.37
12	東大阪市	1.64

(資料)大阪府「大阪府統計年鑑」
(注) 人口は2021年1月1日時点

ごみ排出量

吹田市の状況

【1世帯当たりごみ排出量の推移】



(資料)大阪府「大阪府統計年鑑」
 (注) 世帯数は各年10月1日時点

- 吹田市の1世帯当たりごみ排出量は、2011年度から2017年度にかけて減少を続け、2018年度以降は横ばいで推移している。
- 北摂各市、府内中核市・施行時特例市と比較して、1世帯当たりごみ排出量は、最も少なくなっている。

他都市との比較

【1世帯当たりごみ排出量(2019年度)】

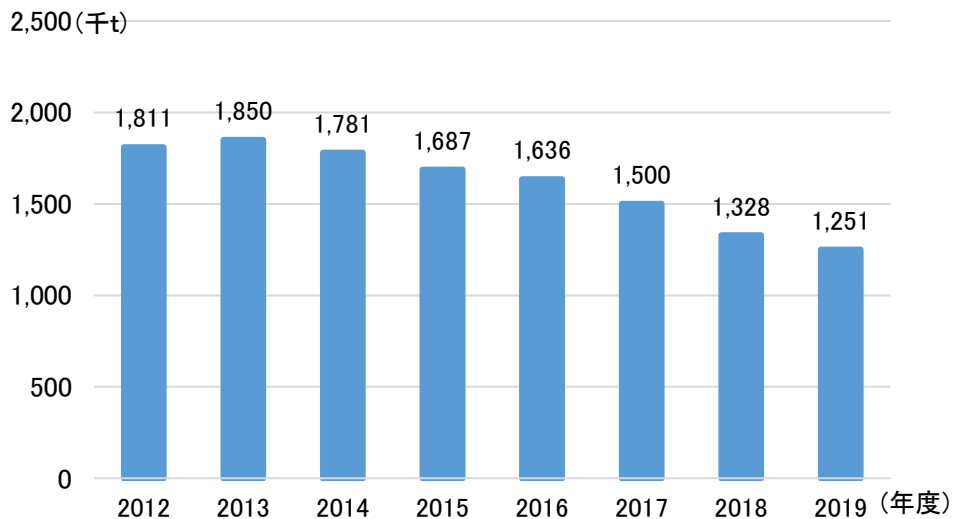
順位	北摂各市 府内中核市 施行時特例市	1世帯当たり ごみ排出量 (kg/世帯)
1	岸和田市	965
2	茨木市	871
3	摂津市	809
4	東大阪市	805
5	箕面市	787
6	高槻市	768
7	八尾市	709
8	寝屋川市	699
9	枚方市	693
10	豊中市	692
11	池田市	667
12	吹田市	659

(資料)大阪府「大阪府統計年鑑」
 (注) 世帯数は2019年10月1日時点

二酸化炭素排出量

吹田市の状況

【二酸化炭素排出量の推移】



(資料)環境省「自治体排出量カルテ」

- 吹田市の二酸化炭素排出量は減少傾向にあり、2019年度は2013年度の約3分の2まで減少している。
- 一方で、北摂各市、府内中核市・施行時特例市と比較して、やや多くなっている。

他都市との比較

【二酸化炭素排出量(2019年度)】

順位	北摂各市 府内中核市 施行時特例市	二酸化炭素 排出量 (千t)
1	東大阪市	2,325
2	枚方市	1,527
3	八尾市	1,480
4	豊中市	1,280
5	吹田市	1,251
6	高槻市	1,223
7	茨木市	1,080
8	岸和田市	798
9	池田市	775
10	寝屋川市	751
11	摂津市	564
12	箕面市	414

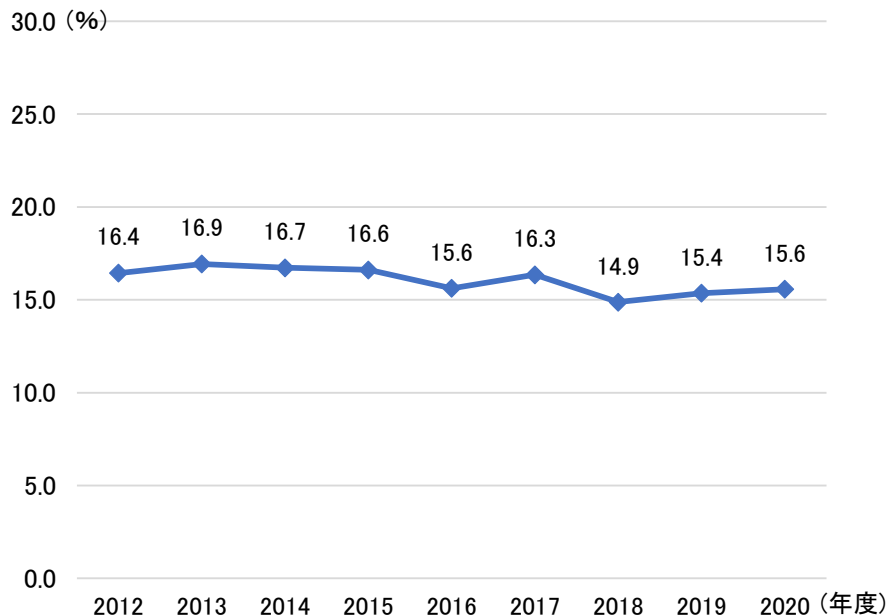
(資料)環境省「自治体排出量カルテ」



リサイクル率

吹田市の状況

【リサイクル率の推移】



(資料)環境省「一般廃棄物処理事業実態調査」

(注) リサイクル率の算出方法は次のとおり。リサイクル率R=(直接資源化量+中間処理後再生利用量+集団回収量)/(ごみ処理量+集団回収量)*10

- 2013年度以降、リサイクル率は下降傾向にあったが、2018年度以降はやや上昇傾向にある。
- また、北摂各市、府内中核市・施行特例市と比較して、リサイクル率はやや高くなっている。

他都市との比較

【リサイクル率(2020年度)】

順位	北摂各市 府内中核市 施行時特例市	リサイクル率 (%)
1	茨木市	23.1
2	寝屋川市	21.2
3	枚方市	19.3
4	豊中市	15.6
5	吹田市	15.6
6	高槻市	13.1
7	八尾市	13.1
8	岸和田市	12.5
9	池田市	12.4
10	箕面市	12.4
11	摂津市	12.1
12	東大阪市	9.3

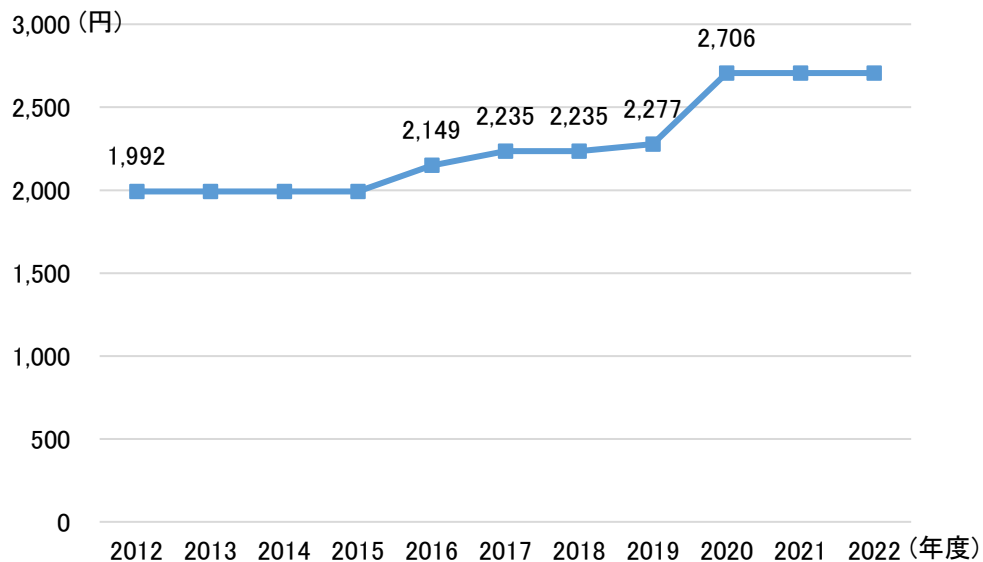
(資料)環境省「一般廃棄物処理事業実態調査」



上水道料金

吹田市の状況

【上水道料金の推移】



(資料)大阪府市町村ハンドブック
(注) 20m³使用時の料金(税込)

- 吹田市の上水道料金は、基盤強化を図るために、2016年度から2020年度にかけて2回改定されている。2021年以降は変化していない。
- 北摂各市、府内中核市・施行時特例市と比較して、上水道料金はやや高くなっている。

他都市との比較

【上水道料金(2022年度)】

順位	北摂各市 府内中核市 施行時特例市	【20m ³ 】 上水道料 金(円)
1	箕面市	2,906
2	摂津市	2,778
3	八尾市	2,772
4	吹田市	2,706
5	岸和田市	2,673
6	池田市	2,651
7	寝屋川市	2,600
8	東大阪市	2,598
9	豊中市	2,497
10	高槻市	2,420
11	枚方市	2,290
12	茨木市	2,035

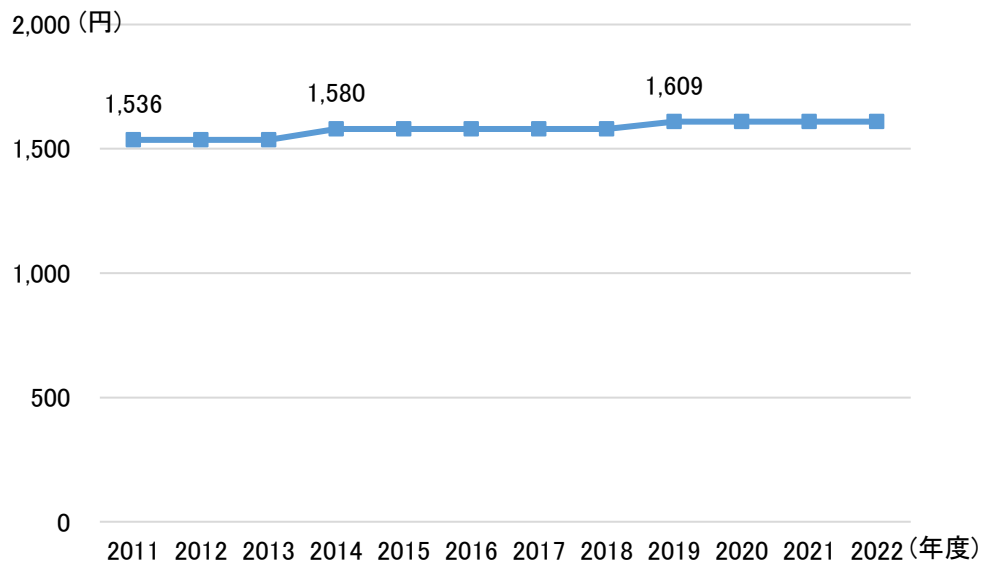
(資料)大阪府市町村ハンドブック



下水道使用料

吹田市の状況

【下水道使用料の推移】



(資料)大阪府市町村ハンドブック

他都市との比較

【下水道使用料(2022年度)】

順位	北摂各市 府内中核市 施行時特例市	【20m ³ 】 下水道 使用料(円)
1	岸和田市	2,871
2	枚方市	2,618
3	八尾市	2,563
4	寝屋川市	2,406
5	摂津市	2,299
6	東大阪市	2,087
7	茨木市	2,035
8	高槻市	1,965
9	箕面市	1,863
10	吹田市	1,609
11	豊中市	1,421
12	池田市	1,353

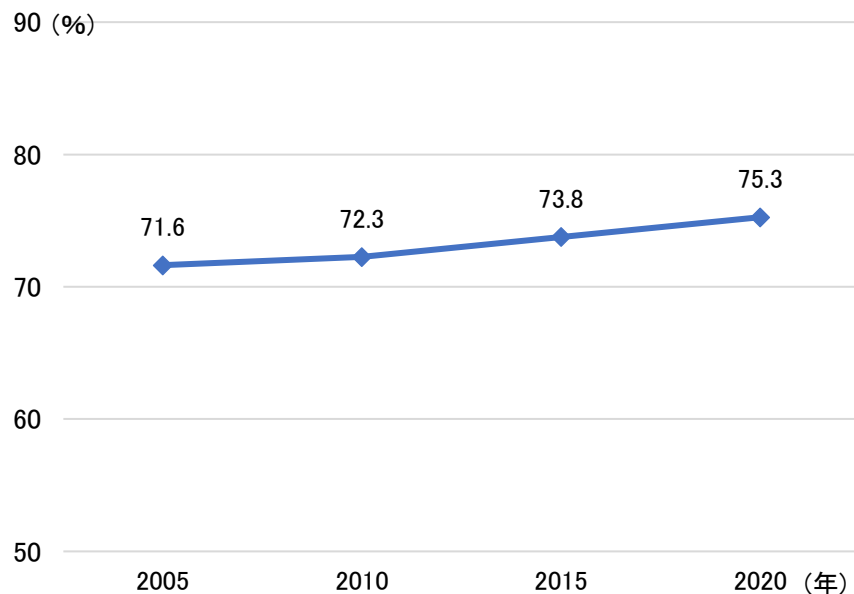
(資料)大阪府市町村ハンドブック

- 吹田市の下水道使用料は、消費税率の引き上げに伴い、価格が改定されているが、料金体系は変化していない。
- 北摂各市、府内中核市・施行時特例市と比較して、下水道使用料はやや低くなっている。

共同住宅居住率

吹田市の状況

【共同住宅居住率の推移】



(資料)総務省「国勢調査」

(注) 共同住宅居住率は、住宅に居住する一般世帯に占める共同住宅(マンションやアパート等)に居住する世帯の割合

- 吹田市の共同住宅居住率(マンション・アパート等に住む世帯の割合)は、上昇傾向にあり、一般世帯の7割を超えている。
- 北摂各市、府内中核市・施行時特例市と比較しても、共同住宅居住率は最も高くなっている。

他都市との比較

【共同住宅居住率(2020年)】

順位	北摂各市 府内中核市 施行時特例市	共同住宅 居住率 (%)
1	吹田市	75.3
2	豊中市	64.2
3	茨木市	61.7
4	池田市	56.6
5	摂津市	51.6
6	箕面市	49.4
7	東大阪市	48.4
8	寝屋川市	45.5
9	高槻市	44.3
10	枚方市	43.8
11	八尾市	39.9
12	岸和田市	36.7

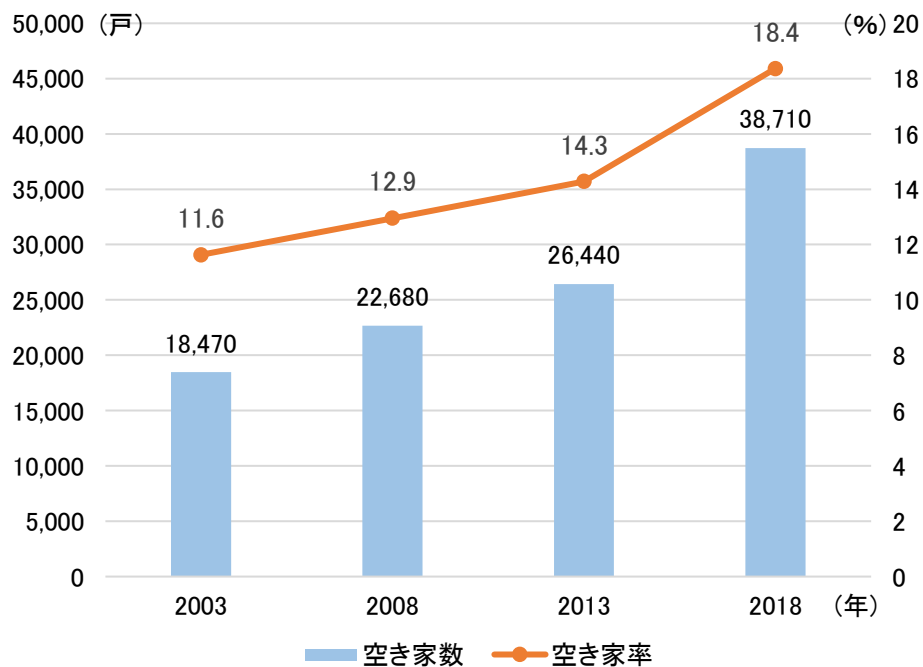
(資料)総務省「国勢調査」



空き家率

吹田市の状況

【空き家数・空き家率の推移】



(資料)国土交通省「住宅・土地統計調査」

- 空き家数・空き家率ともに増加しており、特に近年はその傾向が拡大している。
- 北摂各市、府内中核市・施行時特例市と比較しても空き家数・空き家率は高くなっている。

他都市との比較

【空き家数・空き家率(2018年)】

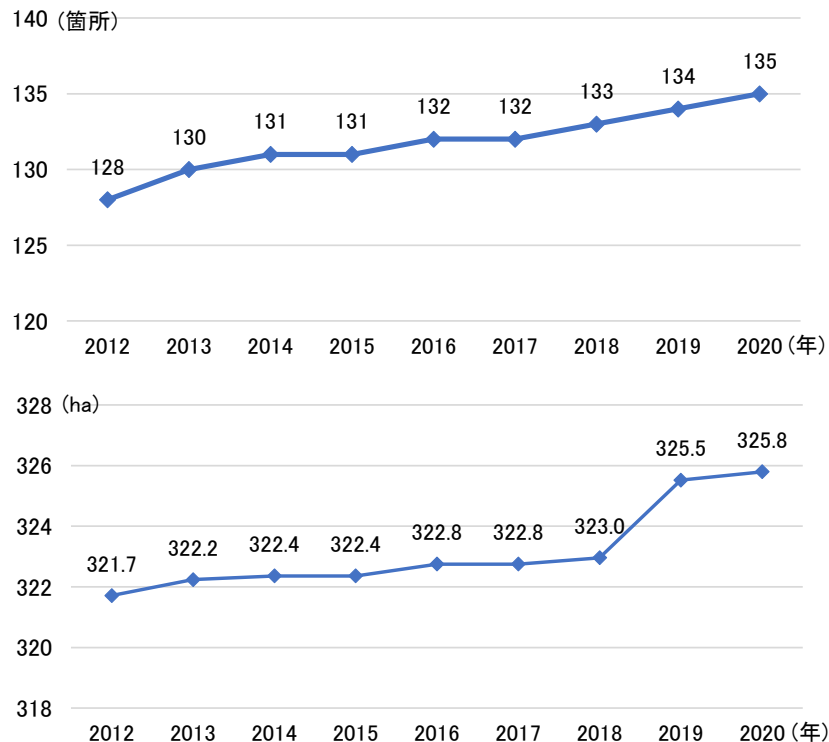
順位	北摂各市 府内中核市 施行時特例市	空き家数 (戸)	順位	北摂各市 府内中核市 施行時特例市	空き家率 (%)
1	東大阪市	44,390	1	吹田市	18.4
2	吹田市	38,710	2	東大阪市	16.3
3	豊中市	30,830	3	豊中市	15.3
4	枚方市	23,560	4	寝屋川市	14.7
5	八尾市	18,830	5	八尾市	14.3
6	寝屋川市	17,200	6	岸和田市	13.9
7	高槻市	17,020	7	摂津市	13.8
8	茨木市	14,690	8	箕面市	13.2
9	岸和田市	11,810	9	池田市	12.5
10	箕面市	9,060	10	枚方市	12.4
11	池田市	6,660	11	茨木市	10.9
12	摂津市	5,940	12	高槻市	10.3

(資料)国土交通省「住宅・土地統計調査」

都市公園数・面積

吹田市の状況

【都市公園数・都市公園面積】



(資料)大阪府「大阪府統計年鑑」
(注) 各年3月31日時点

- 都市公園数、都市公園面積は、いずれも増加している。
- 北摂各市、府内中核市・施行時特例市と比較して、人口あたりの都市公園面積は大きくなっている。

他都市との比較

【人口当たり都市公園面積(2020年)】

順位	北摂各市 府内中核市 施行時特例市	1人当たり 都市公園面積 (㎡/人)
1	箕面市	17.20
2	池田市	12.58
3	岸和田市	8.77
4	吹田市	8.49
5	豊中市	6.86
6	摂津市	5.67
7	寝屋川市	5.61
8	枚方市	5.58
9	高槻市	5.38
10	茨木市	3.78
11	八尾市	2.85
12	東大阪市	2.84

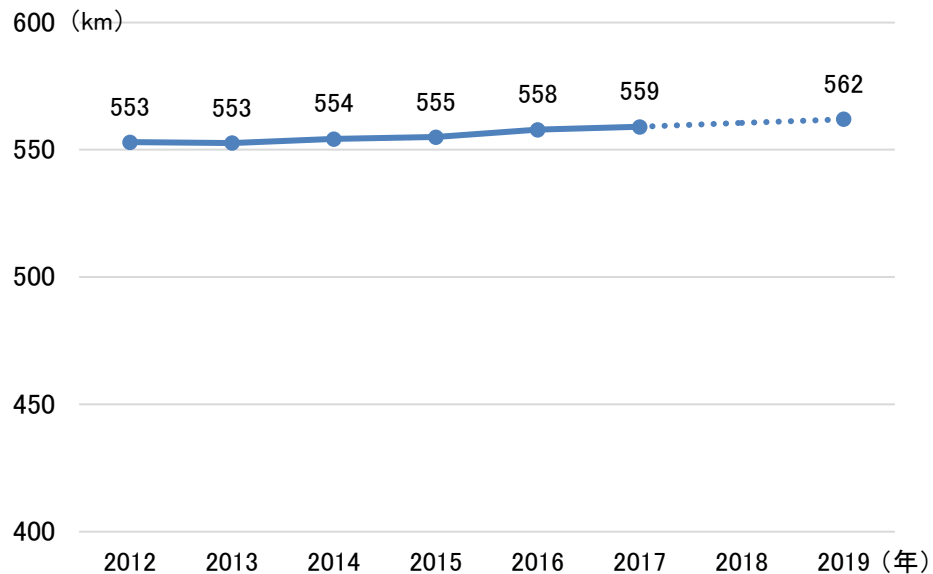
(資料)大阪府「大阪府統計年鑑」
(注) 都市公園面積は2020年3月31日時点、人口は2020年4月1日時点



道路総延長

吹田市の状況

【道路総延長の推移】



(資料)大阪府「大阪府統計年鑑」
 (注)2018年はデータ無し。各年4月1日時点

他都市との比較

【道路総延長(2019年)】

順位	北摂各市 府内中核市 施行時特例市	道路総延長 (km)
1	高槻市	981
2	東大阪市	926
3	枚方市	872
4	茨木市	759
5	豊中市	678
6	八尾市	660
7	岸和田市	634
8	吹田市	562
9	箕面市	437
10	寝屋川市	361
11	池田市	236
12	摂津市	216

(資料)大阪府「大阪府統計年鑑」
 (注)2019年4月1日時点

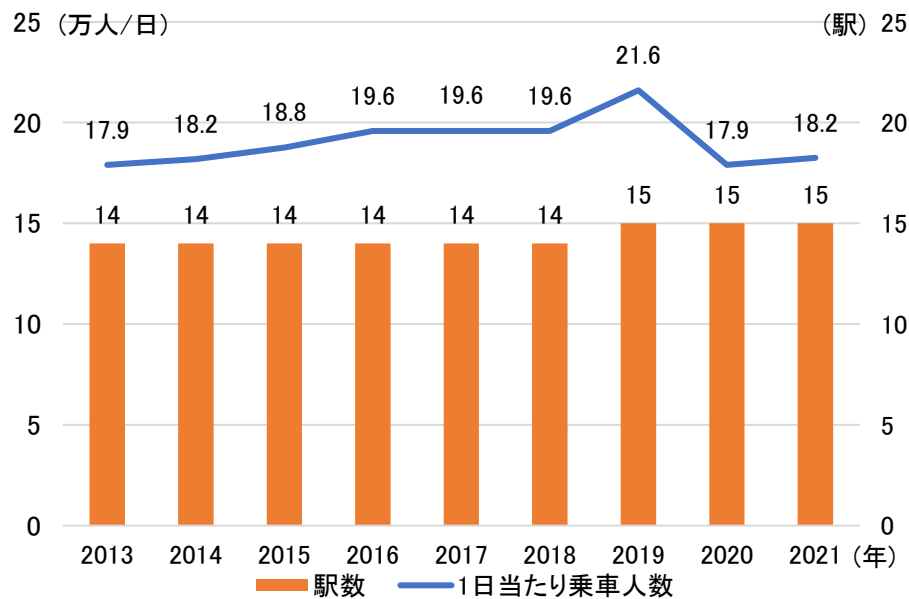
- 吹田市の道路総延長は、緩やかに伸長している。
- 北摂各市、府内中核市・施行時特例市と比較すると、中位の水準にある。



駅の乗車人数

吹田市の状況

【1日当たり駅の乗車人数・駅数の推移】



(資料)大阪府「大阪府統計年鑑」
 (注)JR各駅の1日当たり乗車数は、各年度平均、その他の駅は各年次平均

他都市との比較

【1日当たり駅の乗車人数(2021年)】

順位	北摂各市 府内中核市 施行時特例市	1日当たり 乗車人数 (万人/日)
1	吹田市	18.2
2	豊中市	18.1
3	東大阪市	17.2
4	茨木市	12.8
5	枚方市	11.9
6	高槻市	11.1
7	八尾市	7.5
8	池田市	7.2
9	寝屋川市	6.7
10	岸和田市	3.9
11	摂津市	3.8
12	箕面市	1.7

(資料)大阪府「大阪府統計年鑑」
 (注)JR各駅の1日当たり乗車数は、年度平均、その他の駅は年次平均

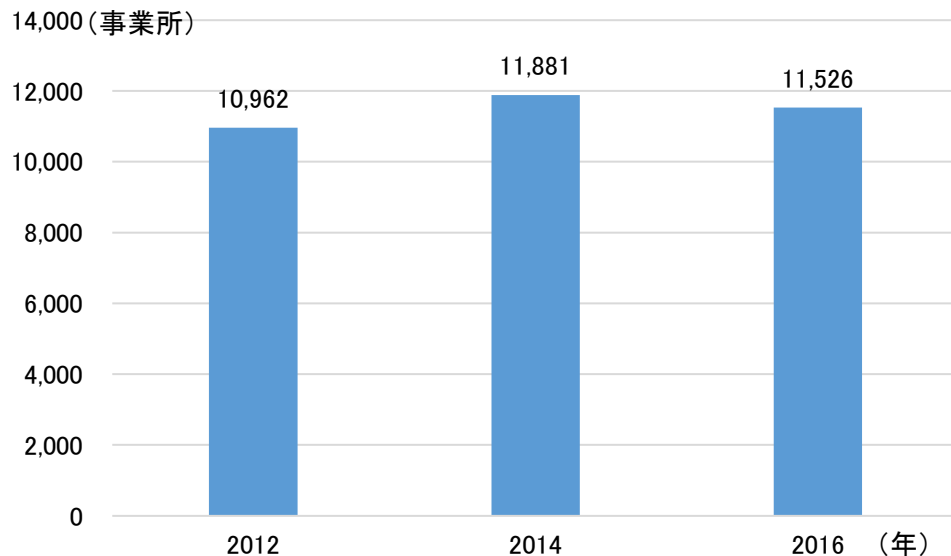
- 吹田市内の各駅の1日当たり乗車人数は、2019年まで増加傾向にあったが、2020年に減少している。
- 北摂各市、府内中核市・施行時特例市と比較すると、市内各駅の1日当たり乗車人数が多くなっている。



事業所数

吹田市の状況

【民間事業所数の推移】



(資料)総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」

- 吹田市の民間事業所数は、2012年から2014年にかけてやや増加が見られたが、2016年に減少している。
- 北摂各市、府内中核市・施行時特例市と比較すると、市内に立地する民間事業所数はやや多くなっている。

他都市との比較

【民間事業所数(2016年)】

順位	北摂各市 府内中核市 施行時特例市	事業所数 (事業所)
1	東大阪市	24,644
2	豊中市	13,044
3	八尾市	11,940
4	吹田市	11,526
5	枚方市	10,074
6	高槻市	9,320
7	茨木市	9,279
8	岸和田市	7,230
9	寝屋川市	7,096
10	箕面市	4,215
11	摂津市	4,082
12	池田市	3,647

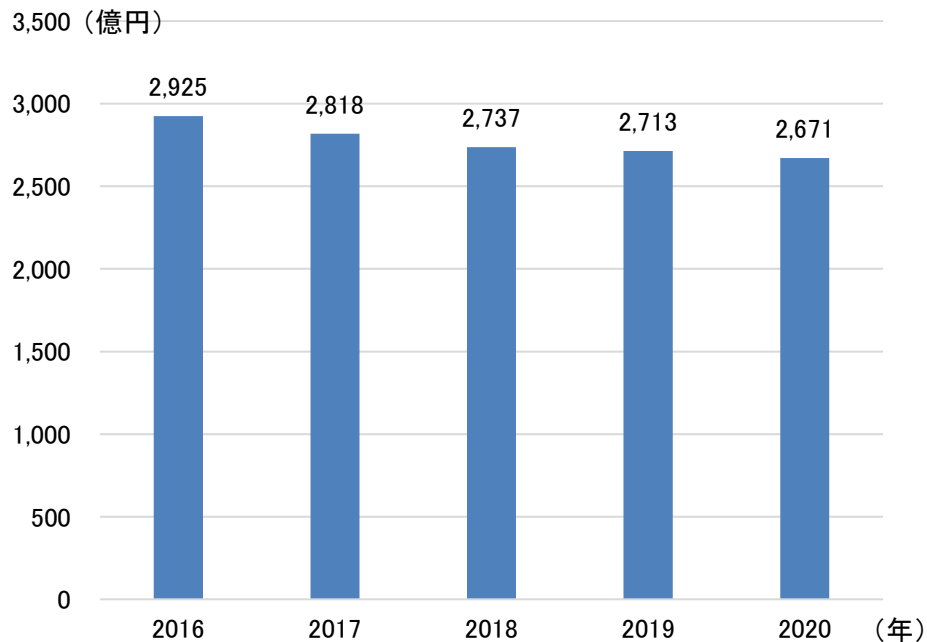
(資料)総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」



製造品出荷額等

吹田市の状況

【製造品出荷額等の推移】



(資料)大阪府「大阪府統計年鑑」、経済産業省「工業統計」

(注)「製造品出荷額等」は、主に製造品出荷額(各事業所が所有する原材料によって製造されたものを出荷した額)と、加工賃収入額(他の事業所が所有する原材料や製品の加工や処理による加工賃)から構成されている

- 吹田市の製造品出荷額等は、減少傾向が続いている。
- 北摂各市、府内中核市・施行時特例市と比較して、製造品出荷額等は少なくなっている。

他都市との比較

【製造品出荷額等(2020年)】

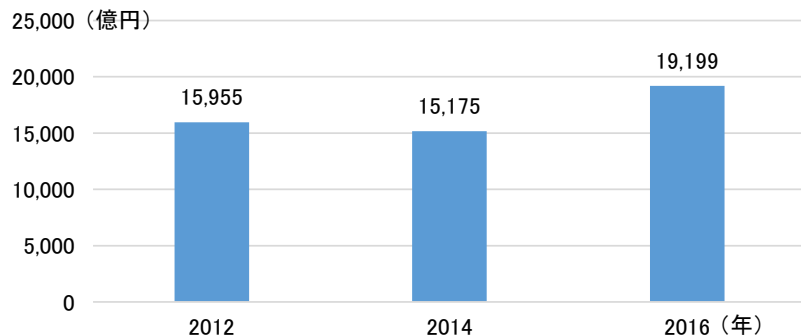
順位	北摂各市 府内中核市 施行時特例市	製造品 出荷額等 (億円)
1	東大阪市	11,655
2	八尾市	11,246
3	池田市	8,109
4	枚方市	7,713
5	高槻市	4,380
6	摂津市	3,821
7	豊中市	3,127
8	茨木市	2,951
9	吹田市	2,671
10	岸和田市	2,422
11	寝屋川市	1,800
12	箕面市	259

(資料)経済産業省「工業統計」

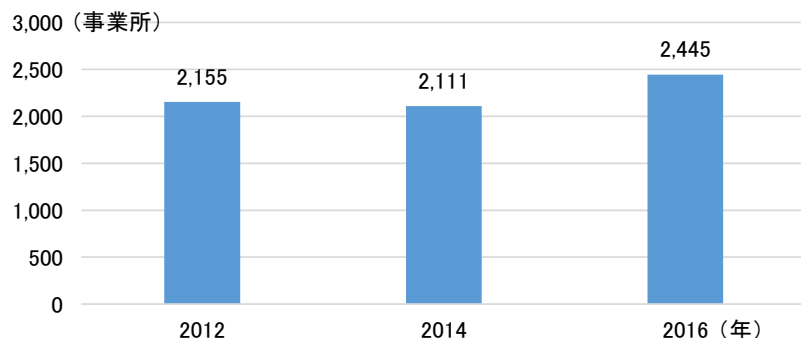
年間商品販売額

吹田市の状況

【年間商品販売額の推移】



【卸売業・小売業事業所数の推移】



(資料) 総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」、経済産業省「商業統計調査」

(注) 年間商品販売額・事業所数ともに、卸売業、小売業の合計

- 吹田市の年間商品販売額と卸売業・小売業事業所数は、いずれも2014年に減少したが、2016年は増加に転じている。
- 北摂各市、府内中核市・施行時特例市と比較すると、年間商品販売額は最も大きくなっている。

他都市との比較

【年間商品販売額(2016年)】

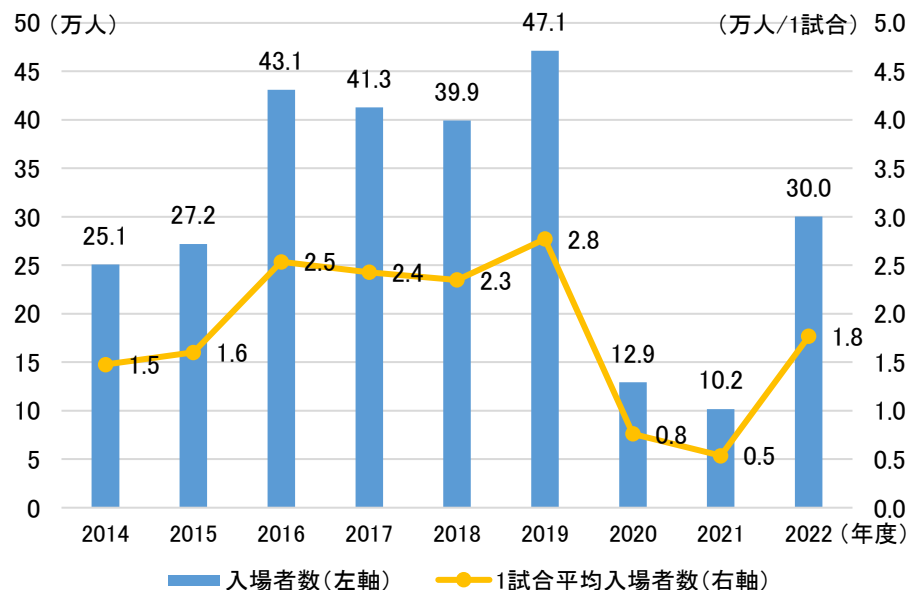
順位	北摂各市 府内中核市 施行時特例市	年間商品 販売額 (億円)
1	吹田市	19,199
2	東大阪市	17,974
3	茨木市	11,206
4	豊中市	10,876
5	八尾市	6,339
6	高槻市	5,550
7	枚方市	5,035
8	摂津市	4,217
9	寝屋川市	3,875
10	箕面市	3,689
11	岸和田市	3,152
12	池田市	1,487

(資料) 総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」

ガンバ大阪ホームゲーム入場者数

吹田市の状況

【ガンバ大阪ホームゲーム入場者数の推移】



(資料) J.LEAGUE Data Site (<https://data-j-league.or.jp/SFTP01/>)「年度別入場者数推移」

- 「パナソニックスタジアム吹田」をホームスタジアムとするJ1チーム「ガンバ大阪」のホームゲーム入場者数は、2020年度、2021年度には減少したが、2022年度には大きく回復している。
- 全国のJ1チームの入場者数と比較しても、多くの入場者を集めている。

他都市との比較

【J1ホームゲーム入場者数(2022年度)】

	J1チーム	ホームスタジアム 所在都市	ホームゲーム 入場者数 (人)
1	浦和レッズ	さいたま市	401,489
2	FC東京	調布市	379,256
3	横浜F・マリノス	横浜市	336,782
4	名古屋グランパス	豊田市	319,818
5	川崎フロンターレ	川崎市	304,971
6	ガンバ大阪	吹田市	300,372
7	鹿島アントラーズ	鹿嶋市	274,729
8	ヴィッセル神戸	神戸市	264,725
9	清水エスパルス	静岡市	259,165
10	北海道コンサドーレ札幌	札幌市	207,654
11	京都サンガF.C.	亀岡市	198,769
12	セレッソ大阪	大阪市	194,260
13	サンフレッチェ広島	広島市	178,388
14	ジュビロ磐田	磐田市	169,015
15	サガン鳥栖	鳥栖市	159,087
16	柏レイソル	柏市	157,497
17	湘南ベルマーレ	平塚市	156,879
18	アビスパ福岡	福岡市	121,545

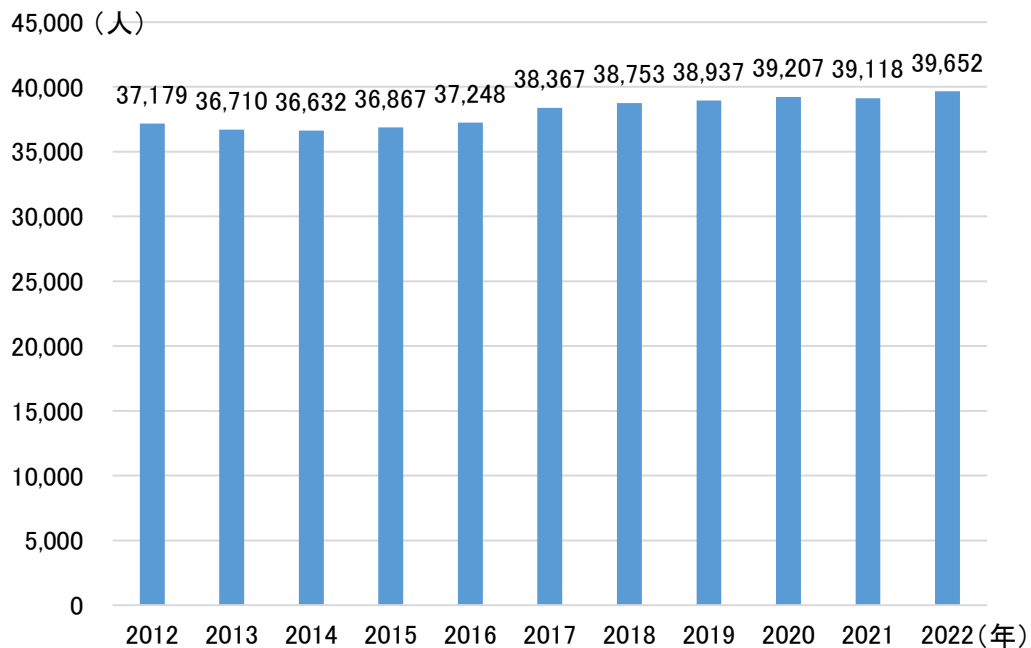
(資料) J.LEAGUE Data Site (<https://data-j-league.or.jp/SFTP01/>)「年度別入場者数推移」



大学生数

吹田市の状況

【大学生数の推移】



(資料)大阪府「大阪の学校統計」

(注)吹田市に所在する学部・研究科に在籍する大学生数

他都市との比較

【大学生数・大学数(2022年)】

順位	北摂各市 府内中核市 施行時特例市	大学生数 (人)	各市に本部を 置く学校数 (校)
1	吹田市	39,652	5
2	東大阪市	32,690	4
3	茨木市	18,346	4
4	枚方市	17,239	3
5	寝屋川市	9,715	2
6	豊中市	6,734	1
7	高槻市	6,539	1
8	八尾市	3,862	1
9	箕面市	3,537	1
10	摂津市	1,613	1
11	岸和田市	0	0
11	池田市	0	0

(資料)大阪府「大阪の学校統計」

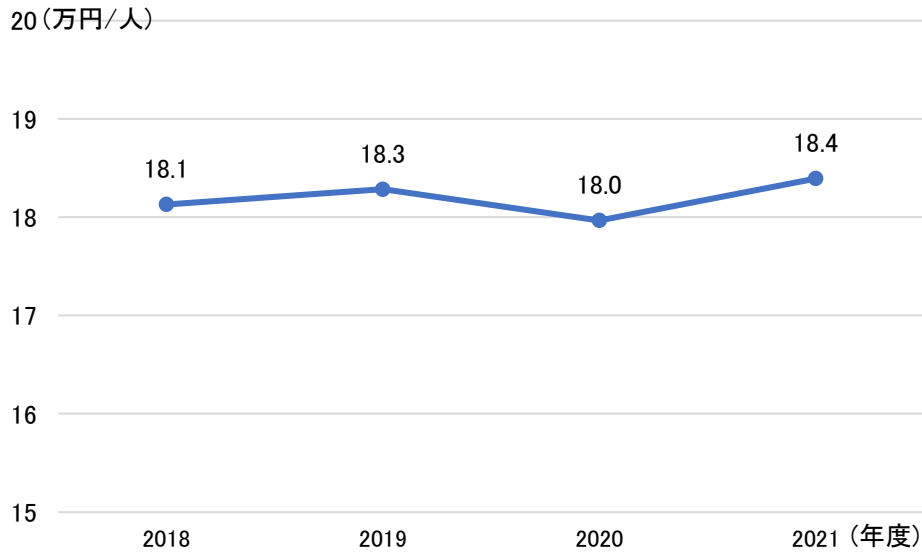
- 吹田市には複数の大学が立地する、大学生の多いまちで、2012年以降の大学生数はやや増加傾向にある。
- 北摂各市、府内中核市・施行時特例市と比較すると、吹田市の大学生数が最も多くなっている。



1人当たり市税収入

吹田市の状況

【人口1人当たり市税収入の推移】



(資料) 中核市市長会「都市要覧」
 (注) 人口は各年度末時点

- 吹田市の人口1人当たり市税収入は、近年18万円前後を推移している。
- 全国の中核市と比較すると、2021年度では2番目に大きくなっている。

他都市との比較

【人口1人当たり市税収入(2021年度)】

順位	中核市	人口1人当たり市税収入 (万円/人)
1	豊田市	23.0
2	吹田市	18.4
3	姫路市	18.1
4	金沢市	18.1
5	富山市	18.0
6	西宮市	18.0
7	岡崎市	17.9
8	福井市	17.6
9	宇都宮市	17.6
10	尼崎市	17.4
11	倉敷市	17.4
12	豊中市	17.3
13	豊橋市	17.3
14	高崎市	16.8
15	大分市	16.6
16	福山市	16.4
17	和歌山市	16.2
18	いわき市	16.2
19	川越市	16.1
20	岐阜市	16.1
...
62	佐世保市	12.1

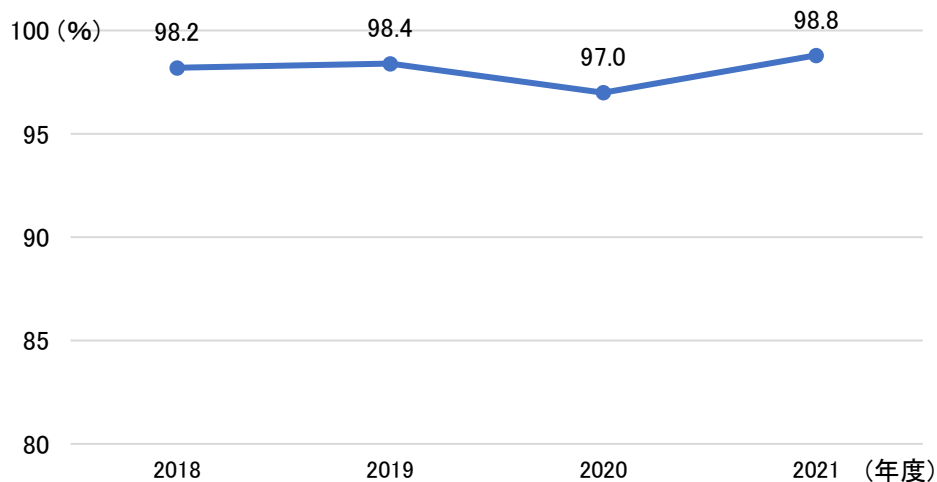
(資料) 中核市市長会「都市要覧」
 (注) 人口は2021年度末時点



市税徴収率

吹田市の状況

【市税徴収率の推移】



(資料) 中核市市長会「都市要覧」
 (注) 市税には、市民税と固定資産税が含まれる

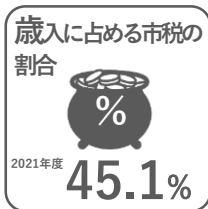
- 吹田市の市税徴収率の近年の推移をみると、2020年度にやや下降したが、2021年度には上昇に転じている。
- 全国の中核市と比較しても、市税徴収率は良好な状況となっている。

他都市との比較

【市税徴収率(2021年度)】

順位	中核市	市税徴収率 (%)
1	高槻市	99.5
1	枚方市	99.5
3	呉市	99.4
3	大分市	99.4
5	高崎市	99.3
6	八王子市	99.1
6	長野市	99.1
6	豊田市	99.1
9	東大阪市	98.9
10	吹田市	98.8
11	前橋市	98.7
11	倉敷市	98.7
11	松山市	98.7
14	松本市	98.4
14	松江市	98.4
14	那覇市	98.4
17	西宮市	98.3
18	福井市	98.2
18	宮崎市	98.2
20	盛岡市	98.1
...
62	青森市	95.0

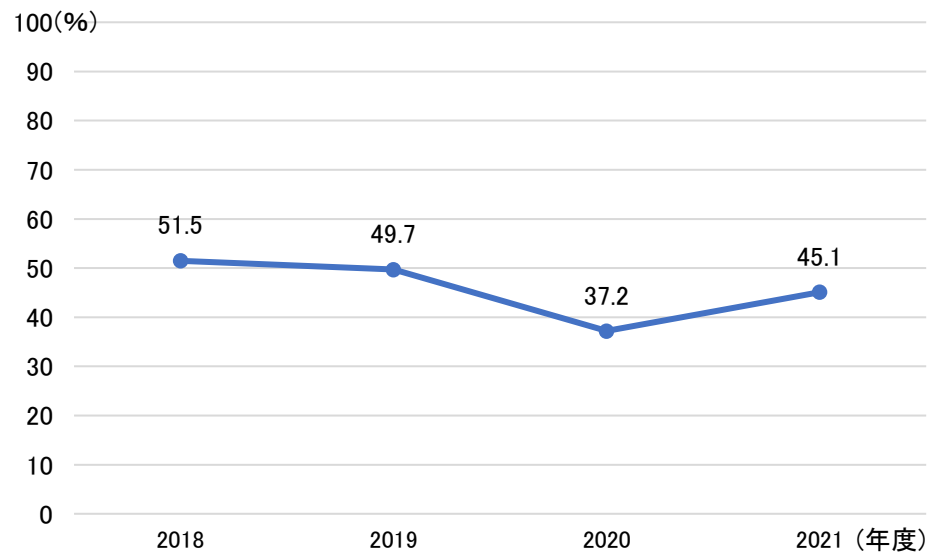
(資料) 中核市市長会「都市要覧」



歳入に占める市税の割合

吹田市の状況

【歳入に占める市税の割合の推移】



(資料)中核市市長会「都市要覧」
 (注) 市税には、市民税と固定資産税が含まれる

- 近年の推移をみると、やや下降傾向にあったが、2021年度には上昇に転じている。
- 市税の歳入に占める割合は、全国の中核市の中でも3番目に高くなっている。

他都市との比較

【歳入に占める市税の割合(2021年度)】

順位	中核市	歳入に占める市税の割合 (%)
1	岡崎市	46.1
2	豊田市	46.0
3	吹田市	45.1
4	豊橋市	42.9
5	柏市	42.8
6	川越市	42.6
7	西宮市	41.2
8	船橋市	40.2
9	姫路市	39.5
10	川口市	39.4
11	豊中市	38.6
12	大分市	37.4
13	富山市	37.2
14	越谷市	36.9
15	倉敷市	36.8
16	金沢市	36.6
17	八王子市	36.5
18	福井市	36.3
19	福山市	35.9
20	宇都宮市	34.7
...
62	鳥取市	19.2

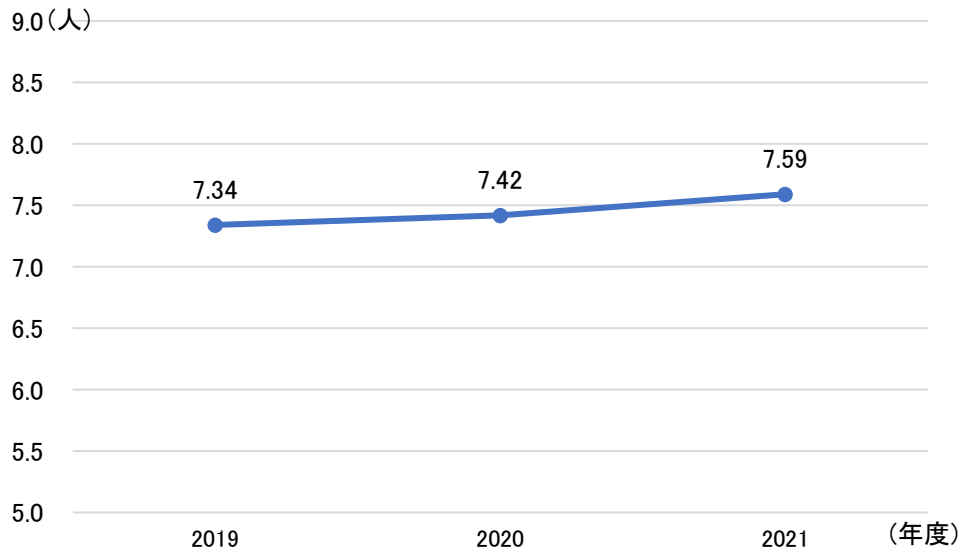
(資料)中核市市長会「都市要覧」



市民千人当たり職員数

吹田市の状況

【市民千人当たり職員数の推移】



(資料)中核市市長会「都市要覧」
(注)人口は各年度末時点

- 近年は人口が増加しているが、中核市移行もあり、職員数も増加しているため、市民千人当たりの職員数はやや増加している。
- 一方、全国の中核市と比較すると、市民千人当たりの職員数は少ない。

他都市との比較

【市民千人当たり職員数(2021年度)】

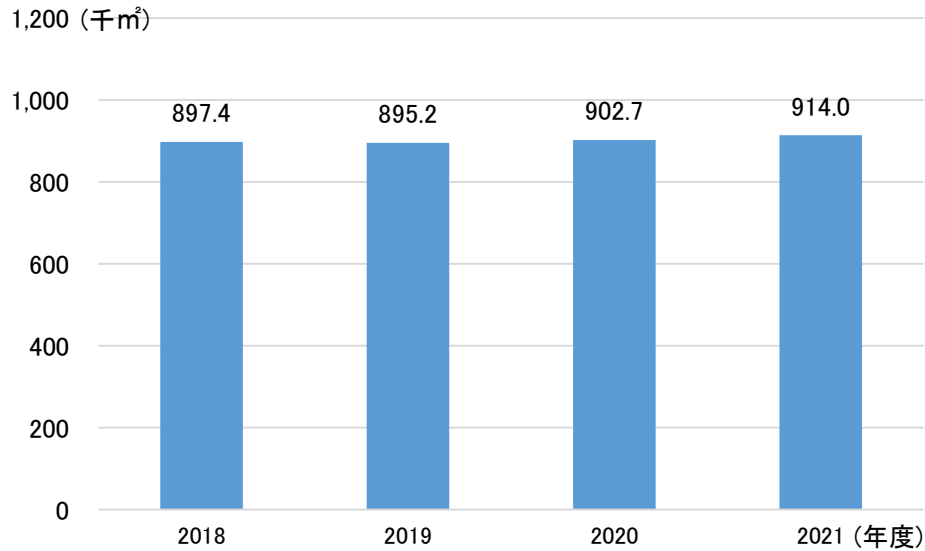
順位	中核市	市民千人当たり職員数(人)
1	函館市	13.51
2	松江市	12.65
3	いわき市	11.99
4	八戸市	10.95
5	岡崎市	10.43
6	岐阜市	10.38
7	一宮市	10.25
8	佐世保市	10.23
9	豊橋市	10.21
10	山形市	10.21
...
41	吹田市	7.59
42	姫路市	7.56
43	那覇市	7.53
44	枚方市	7.39
45	倉敷市	7.32
46	金沢市	7.13
47	尼崎市	7.12
48	大分市	7.07
49	高槻市	7.04
50	大津市	6.98
...
62	八王子市	5.11

(資料)中核市市長会「都市要覧」
(注)人口は2021年度末時点

公共施設の延べ床面積

吹田市の状況

【公共施設の延べ床面積の推移】



(資料)中核市市長会「都市要覧」
(注) 地方自治法における「行政財産」の延べ床面積。行政財産には、市役所、学校、図書館、公園等が含まれる。

- 吹田市の公共施設等の延べ床面積は、900千㎡前後を推移している。
- また、全国の中核市と比較すると、やや小さくなっている。

他都市との比較

【公共施設の延べ床面積(2021年度)】

順位	中核市	延べ床面積 (千㎡)
1	鹿児島市	2,265.4
2	姫路市	1,976.0
3	長崎市	1,858.1
4	尼崎市	1,684.6
5	富山市	1,631.4
6	松山市	1,578.3
7	豊田市	1,574.1
8	西宮市	1,566.0
9	長野市	1,550.0
10	金沢市	1,490.6
...
48	吹田市	914.0
49	福井市	899.6
50	松江市	899.1
51	鳥取市	898.6
52	山形市	878.6
53	豊中市	833.4
54	明石市	808.4
55	柏市	802.6
56	川越市	781.8
57	高槻市	770.9
...
62	寝屋川市	399.8

(資料)中核市市長会「都市要覧」